

平成26年6月13日

千葉県報第12926号 別冊

平成25年度

# 行政監査結果報告書

千葉県監査委員



# 目 次

第1	監査の概要	1
1	行政監査の趣旨	1
2	監査のテーマ	1
3	監査の目的	1
4	監査対象機関及び監査実施方法	2
5	監査対象年度	2
6	監査実施時期	2
7	監査の着眼点	3
第2	予備調査の概要と結果	4
1	予備調査の概要	4
2	予備調査の結果	5
第3	監査の結果	9
1	イベントの目的及び必要性について	10
2	イベントの計画策定について	11
3	イベントの運営について	12
4	イベントの広報について	19
5	イベントの効果の検証について	20
6	危機管理について	22
第4	監査意見	24
1	イベントの目的及び必要性について	24
2	イベントの計画策定について	25
3	イベントの運営について	26
4	イベントの広報について	27
5	イベントの効果の検証について	28
6	危機管理について	30
7	イベントに係る庁内の情報共有について	30
第5	おわりに	32
第6	資 料	33



## 第1 監査の概要

### 1 行政監査の趣旨

行政監査は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第2項の規定により、財務事務に限らず、県の一般行政事務について、その適正かつ効率的な運用を確保するため、合規性、正確性はもとより、経済性、効率性及び有効性の観点から監査を実施するものである。

### 2 監査のテーマ

イベントの実施状況について

### 3 監査の目的

本県においては、県の施策・事業の推進や各種行政活動の一環として多種多様な形態・ジャンルのイベントが実施されている。効果的なイベントを実施することは、直接的な経済効果と様々な波及効果、施策・事業推進のための呼び水効果、施策・事業の目標への誘導効果、地域への関心の強化、郷土愛の醸成による地域コミュニティの活性化等々、イベントの性格により様々な効果が期待できるものであるが、多額の経費、多くの人員、長期にわたる準備期間を要するイベントが多い中、これらが効率的、効果的に行われているかを分析・検証することは、県の効率的な財政運営に大きく貢献するものと考えられる。

このことから、本県におけるイベントについて、実施の目的や必要性が明確であるか、計画策定や運営は適切であるか、効果の検証や問題点の把握は十分行われているか等、いくつかの着眼点に基づいて内容の分析・検証を行うことにより、本県におけるイベントの現状と問題点を把握し、今後のイベント運営の向上に資することを目的として監査を実施した。

#### 4 監査対象機関及び監査実施方法

予備調査により、平成24年度に開催された県が関与しているイベントの実施状況を把握し、その中からイベント内容、イベント規模、部局間及び地域のバランス等を考慮の上、監査対象イベント30件を選定し、実地による職員調査を行った。その結果に基づき、書面により下記の監査対象機関の監査を実施した。

部 局 等		所 属 名
知 事 部 局	総 務 部	香取地域振興事務所、山武地域振興事務所、夷隅地域振興事務所、安房地域振興事務所
	総 合 企 画 部	国際課、男女共同参画課
	防 災 危 機 管 理 部	危機管理課
	健 康 福 祉 部	障害福祉課、海匝健康福祉センター、長生健康福祉センター、動物愛護センター
	環 境 生 活 部	自然保護課、県民生活課、県民交流・文化課、生活・交通安全課、環境研究センター
	商 工 労 働 部	産業振興課、観光企画課、観光誘致促進課、産業支援技術研究所、船橋高等技術専門校
	農 林 水 産 部	生産販売振興課、君津農業事務所、農林総合研究センター
	県 土 整 備 部	河川環境課、印旛土木事務所、千葉港湾事務所
水 道 局	計画課	
教 育 委 員 会	体育課、さわやかちば県民プラザ	
警 察 本 部	広報県民課	
人事委員会事務局	任用課	

#### 5 監査対象年度

平成24年度に実施したイベント  
ただし、必要に応じ他の年度も対象とした。

#### 6 監査実施時期

平成25年8月～平成26年3月（予備調査を含む。）

## 7 監査の着眼点

次の項目を主な着眼点として、監査を実施した。

- (1) イベントの目的及び必要性について十分な検討が行われているか。
- (2) 計画策定は適切に行われているか。
- (3) イベントの運営は適切に行われているか。
- (4) イベントの広報は適切に行われているか。
- (5) イベントの効果の検証は十分に行われているか。
- (6) 危機管理について適切な対応がとられているか。

## 第2 予備調査の概要と結果

### 1 予備調査の概要

監査に先立ち、イベントの実施状況を把握するため、次に挙げる要件を調査の基準とし、知事部局、水道局、企業庁、病院局、議会事務局、警察本部及び各行政委員会に対して、予備調査を実施した。

#### (1) イベントの定義

フェア、フォーラム、セミナー、シンポジウム、集い、大会、講座、研修、講演会、物産展等の名称にかかわらず、「千葉県の施策・事業の普及・啓発を目的として、開催された行事・催事」とした。

#### (2) 調査対象となるイベント

平成24年度に開催したもの。また、支出科目のいかんにかかわらず、10万円以上の県費の支出を行っているもの。ただし、県職員（嘱託職員、日々雇用職員含む）の人件費は除く。

#### (3) 調査対象から除外するイベント

- ア ○○市町村説明会、○○授業実践研修会、体育祭、文化祭など特定の行政職員、学校職員、生徒のみを対象としたもの。
- イ 感謝状贈呈式、表彰式等のみ行うもの。（文化の日千葉県功労者表彰式等）
- ウ 指定管理者が行う催し。
- エ 美術館、博物館等の企画展、特別展等。
- オ 法令等により定められた会議、講習会、研修会等。

## 2 予備調査の結果

### (1) 部局別の実施状況

予備調査の結果、全体で208件のイベントの報告があり、部局別のイベント実施状況は表1のとおりであった。件数の多い順に商工労働部が45件(21%)、環境生活部が35件(17%)、健康福祉部が33件(16%)となっている。

本庁と出先機関との実施の割合は、本庁が実施したものが148件(71%)、出先機関が実施したものが60件(29%)となっている。

また、総務部は、各地域振興事務所において「県民の日行事」を実施していることから、出先機関で実施しているものが本庁で実施しているものを大きく上回っている。

表1 部局別のイベント実施状況

(単位：件)

部局等		本庁 イベント件数	出先機関 イベント件数	合計 イベント件数
知事 部局	総務部	2	14	16 (8%)
	総合企画部	8	4	12 (6%)
	防災危機管理部	4	0	4 (2%)
	健康福祉部	22	11	33 (16%)
	環境生活部	32	3	35 (17%)
	商工労働部	42	3	45 (21%)
	農林水産部	14	7	21 (10%)
	県土整備部	6	2	8 (4%)
	小計	130	44	174
水道局・企業庁・病院局		7	11	18 (9%)
教育委員会		6	5	11 (5%)
警察本部		3	0	3 (1%)
議会事務局・各行政委員会		2	0	2 (1%)
合計		148	60	208

## (2) 部局別の事業費・県費

部局別の事業費・県費は、表2のとおりであり、全体の事業費の合計は、9億8,010万余円となっている。事業費の内訳は、国費、県費、参加者負担金、協賛金等であり、このうち県費の支出額は、3億4,430万余円で県費支出割合は、約35%であった。事業費全体の45%以上を占めるちばアクアラインマラソンを除くと、全体の事業費の合計は、5億3,399万余円となり、そのうち県費の支出額は2億8,913万余円で、県費支出割合が約54%となる。

部局別の事業費は、教育委員会が6億2,859万余円、商工労働部が1億1,367万余円、環境生活部が9,782万余円となっており、教育委員会における事業費が最も多額となっている。

表2 部局別の事業費・県費

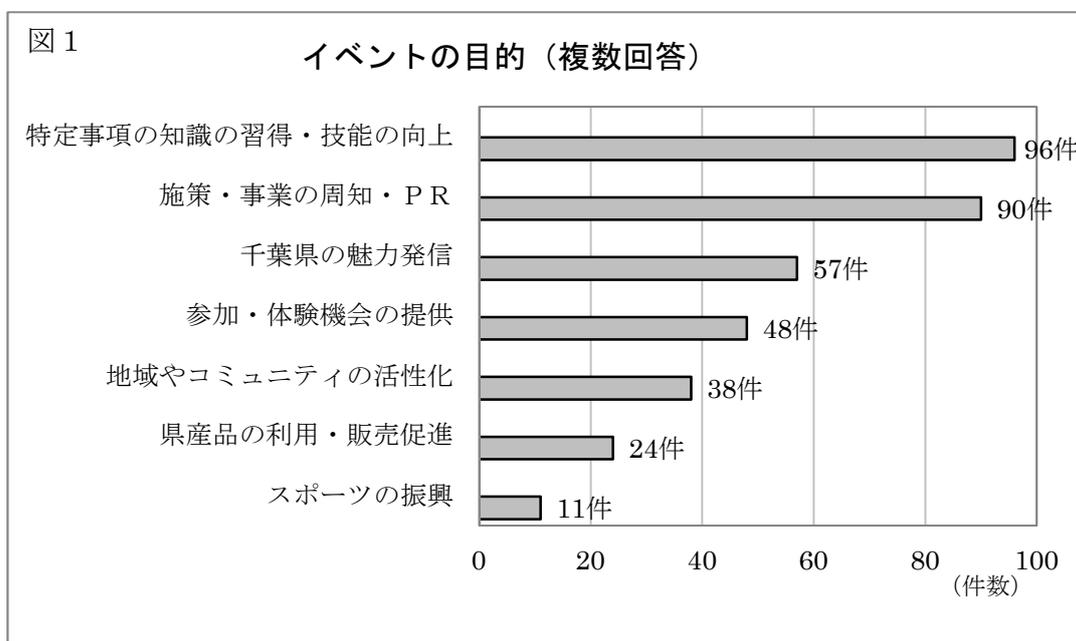
部局等	事業費 (円)	県費支出額 (円)	県費の支出割合	
知事部局	総務部	13,523,903	11,015,938	81.4%
	総合企画部	9,772,115	4,089,947	41.8%
	防災危機管理部	14,651,429	12,499,751	85.3%
	健康福祉部	30,971,669	21,180,893	68.3%
	環境生活部	97,820,520	75,580,282	77.2%
	商工労働部	113,676,119	98,278,113	86.4%
	農林水産部	33,276,151	7,859,132	23.6%
	県土整備部	13,984,820	3,103,087	22.1%
	小計	327,676,726	233,607,143	71.2%
水道局・企業庁・病院局	19,264,473	18,574,967	96.4%	
教育委員会	628,592,399	87,550,458	13.9%	
(うちちばアクアラインマラソンを除いた金額)	(182,484,960)	(32,379,771)	17.7%	
警察本部	4,217,454	4,217,454	100%	
議会事務局・各行政委員会	356,150	356,150	100%	
合計	980,107,202	344,306,172	35.1%	
(うちちばアクアラインマラソンを除いた金額)	(533,999,763)	(289,135,485)	(54.1%)	

### (3) イベントの目的

イベントの目的は、図1のとおりであり、「特定事項の知識の習得・技能の向上」が96件、「施策・事業の周知・PR」が90件と多い状況となっており、必要な人材の育成や県の施策等の広範な周知のためにイベントを活用しているケースが目立っている。

その他、「千葉県の魅力発信」は、57件、「参加・体験機会の提供」は、48件と、イベントならではの特性を目標として設定している取組が多かった。

また、各地域を巡り歴史や自然に触れる体験イベントのように複数の目的（「千葉県の魅力発信」、「参加・体験機会の提供」、「地域やコミュニティの活性化」）で実施しているものもあった。

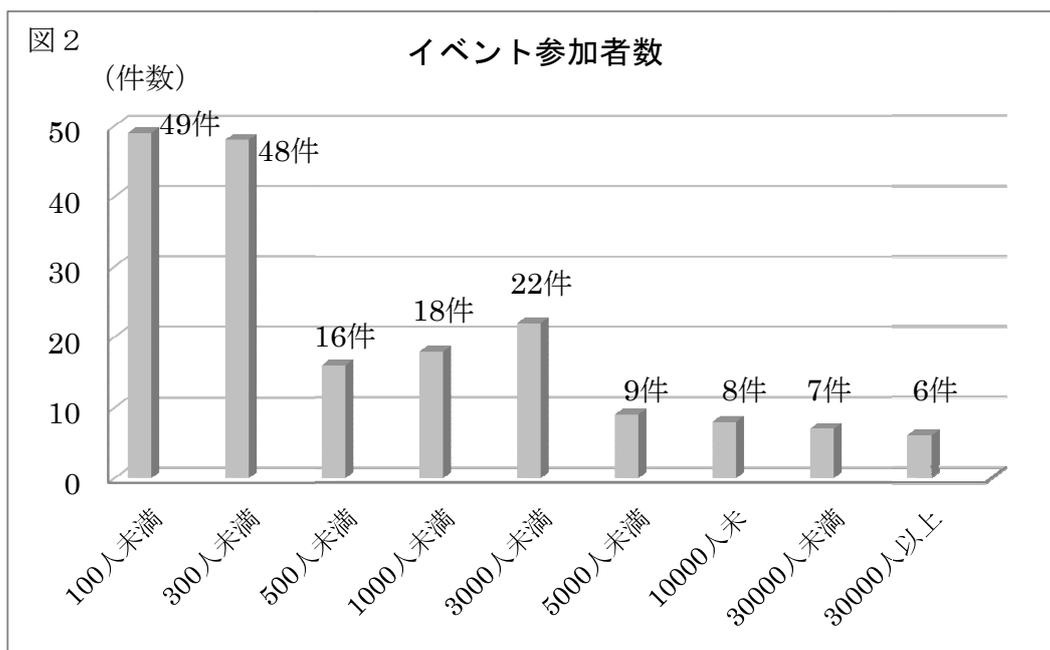


### (4) イベントの参加者数

イベントの参加者数は、図2のとおりであり、参加者を把握していたものは、183件であった。件数の内訳は、「100人未満」が49件、「100人以上300人未満」が48件であり、「300人未満」の比較的小規模なイベントが全体の約53%を占めている。

参加者・来場者が3万人を超える大規模なイベントは6件あり、県が主催しているものとして、「フラワーフェスティバル」が39,600人、「千葉県指定伝統的工芸品展」が36,200人、「警察ふれあいフェスタ2012」が32,000人であった。

残りの3件については、国等が主催しているイベントに出展したものであり、「旅フェア日本2012」が93,099人、「地域農林水産展（実りのフェスティバル）」が64,000人、「関東東海花の展覧会」が32,000人であった。



#### (5) その他

本県においても、多くの部局で多額の経費を投入し、様々な行政目的を実現するため、多種多様なイベントが開催され、多数の県民等の参加を得ていることが明らかになった。現在では、一定の行政目的を達成するための手段として、イベントは必要不可欠な存在として認識されている状況にあるといえよう。

予備調査においては、ほかに「開催形式」、「継続状況」、「委託の有無」等も調査対象としたが、詳細については、33ページ以降の一覧を参照されたい。

### 第3 監査の結果

予備調査により報告された208件のイベントから、イベント内容、イベント規模、部局間及び地域のバランス等を考慮の上、以下の30件のイベントを監査の対象として選定した。

番号	部局等	所属名	イベント名	イベント 始期	事業費 (円)	うち県費 (円)	参加者 (人)	参加者1名 当たりの経費
1	総務部	香取地域振興事務所	県民の日行事「県民の日かとり アマチュアのつどい バンド編」	H23～	970,131	970,131	230	4,218
2		山武地域振興事務所	県民の日行事「さんぶNO.1グランプリ 2012in大網白里町」	H23～	1,639,788	804,788	4,000	410
3		夷隅地域振興事務所	県民の日行事「夷隅の魅力と音楽に触れるローカル鉄道の旅」	H23～	832,914	832,914	113	7,371
4		安房地域振興事務所	県民の日行事「しおさいコンサート」	H9～	515,247	180,000	1,172	440
5	総合企画部	国際課	日本デーにおける千葉県PRブース	H17～	299,938	299,938	5,000	60
6		男女共同参画課	「女性に対する暴力をなくす運動」街頭キャンペーン	H15～	202,650	202,650	3,000	68
7	防災危機管理部	危機管理課	帰宅困難者対策訓練	H24～	147,555	147,555	497	297
8	健康福祉部	障害福祉課	心の健康フェア2012 in ちば	S57～	1,000,000	500,000	1,096	912
9		海匝健康福祉センター	「減塩1g」生活習慣病予防のための食生活改善の推進	H24～	516,638	516,638	1,769	292
10		長生健康福祉センター	青少年に対するエイズ・性感染症対策講習会	H14～	255,000	255,000	2,171	117
11		動物愛護センター	なかよし動物フェスティバル2012	S61～	657,950	257,950	1,053	625
12	環境生活部	自然保護課	第469回NACS-J自然観察指導員講習会	S57～	1,899,160	422,260	64	29,674
13		県民生活課	悪質商法撲滅に向けた消費生活被害対策キャンペーン	H24～	34,515,385	34,515,385	3,000	11,505
14		県民交流・文化課	県民の日記念 千葉の元気発信CM・ショートムービーコンテスト	H24～	7,736,119	7,736,119	200	38,681
15		生活・交通安全課	スクエアード・ストレイト教育技法による自転車交通安全教室	H22～	2,950,500	2,950,500	7,468	395
16		環境研究センター	環境研究センター公開講座	H13～	752,647	752,647	387	1,945
17	商工労働部	産業振興課 産業支援技術研究所	中小企業等技術力高度化支援研修	H19～	863,455	863,455	104	8,302
18		観光企画課	平成24年度千葉県観光ボランティアガイド養成講座	H15～	1,999,998	1,999,998	172	11,628
19		観光誘致促進課	台湾大学生モニターツアー事業	H24～	12,106,500	12,106,500	21	576,500
		観光誘致促進課	外国人による千葉県体験モニターツアー情報発信事業(シンガポール)	H24～	3,734,325	3,734,325	13	287,256
		観光誘致促進課	東アジアからの千葉県体験モニターツアー事業	H24～	3,000,000	3,000,000	5	600,000
		観光誘致促進課	外国人による千葉県体験モニターツアー情報発信事業(タイ王国)	H24～	7,474,935	7,474,935	32	233,592
20	船橋高等技術専門学校	未来の名工チャレンジ	H22～	141,357	141,357	96	1,472	
21	農林水産部	生産販売振興課	いまが旬!「食の宝庫ちばから農林水産物の魅力発信」イベント	H24～	666,435	666,435	878	759
22		君津農業事務所	君津地域いきいき交流会2013	H23～	547,302	285,838	334	1,639
23		農林総合研究センター	千葉県農林総合研究センター公開デー	H20～	368,138	148,138	2,500	147
24	県土整備部	河川環境課 印旛土木事務所	第10回印旛沼流域環境・体験フェア	H16～	8,804,000	502,000	3,000	2,935
25		千葉港湾事務所	千葉港まつり	S28～	1,905,958	800,000	725	2,629
26	水道局	計画課	水道出前講座	H19～	5,306,490	5,306,490	2,800	1,895
27	教育庁	体育課	ちばアクアラインマラソン	H24～	446,107,439	55,170,687	13,946	31,988
28		さわやかちば県民プラザ	ヤングパワームーブメント	H19～	414,824	414,824	5,360	77
29	警察本部	広報県民課	警察「ふれあい」フェスタ2012	H15～	3,189,869	3,189,869	32,000	100
30	人事委員会事務局	任用課	千葉県職員採用セミナー(上級等)	H19～	194,030	194,030	517	375
		任用課	千葉県職員採用セミナー(中・初級等)	H19～	162,120	162,120	447	363

30件のイベントの中で最も継続年数が長いものは、「千葉港まつり」の61年、次いで「心の健康フェア」及び「第469回 NACS-J 自然観察指導員講習会」の32年である。昭和の時代から続いているものはこれらを含めて4件で、ほかは全て平成になってから開始されている。

事業費の多いものは、「ちばアクアラインマラソン」、「悪質商法撲滅に向けた消費生活被害対策キャンペーン」、「外国人による千葉県体験モニターツアー事業（4つの類似イベントを合計した数値）」の順となっており、県費ベースで見ても同じ順序となる。

参加者・来場者数については、多い順に「警察「ふれあい」フェスタ2012」、「ちばアクアラインマラソン」、「スケアード・ストレイト教育技法による自転車交通安全教室」となっており、上位2件は1万人を超える参加者・来場者を集めている。

参加者1名当たりの経費について多いものとして、「外国人によるモニターツアー事業（4つの類似イベントを合計した数値）」、「県民の日記念 千葉の元気発信 CM・ショートムービーコンテスト」、「ちばアクアラインマラソン」の順となるが、イベントの性格によっては、当日の参加者に対する直接的効果よりも、後日における波及効果が主眼となるものがあることにも留意する必要がある。

以下に着眼点に基づき調査した結果について記す。

## 1 イベントの目的及び必要性について

### (1) イベントの目的について

監査対象として選定した30件について、実施した目的別に表したのが表3である。各施策・事業に関する理解の促進を図る「施策・事業の周知、PR」、野菜の収穫体験や自転車の危険運転実技体験等の「参加・体験機会の提供」、千葉県への観光客誘致や地域の魅力をPRする「千葉県の魅力発信」といった目的が多かった。

表3 イベントの実施目的（複数回答） (単位：件)

	イベント数
施策・事業の周知、PR	18
参加・体験機会の提供	13
千葉県の魅力発信	11
地域やコミュニティーの活性化	9
特定事項の知識の習得、技能の向上	8
県産品の利用・販売促進	4
スポーツの振興	3

### (2) イベントの必要性について

各所属における事業・施策の目的を達成するためイベント以外の方法について検討したものが16件、検討しなかったものが14件であった。

検討しなかった主な理由としては、「国庫補助対象が限定されており、イベント以外の手段は選択できない」、「事業・施策をPRするには直接、県民と接するイベントが効果的」というものであった。

### (3) イベントの継続・見直しについて

#### ア イベントの継続について

平成23年度より前から実施しているものが25件あり、継続されているイベン

トの中で最も長いものは61年、次いで32年のものが2件、28年のものが1件と非常に長期に渡り継続されているイベントがある半面、これら以外のイベントについては全て平成10年代以降から開始されていた。

また、前段で述べた25件のうち、継続の是非について検討したものが19件、検討しなかったものが6件であった。継続の是非について検討した結果は、イベントを一旦終了させるもの、イベントの形式を変更するもの、効果的であるとの判断から内容を変えないもの等様々であった。

なお、平成25年度以降のイベントの継続予定については、表4のとおりであり、平成25年度以降も継続予定が29件、平成24年度で終了したものが1件となっている。

表4 イベントの継続状況 (単位：件)

	平成23年度以前から実施している	平成24年度から実施している	合計
平成25年度以降も継続予定	24	5	29
平成24年度で終了	1	0	1
合計	25	5	30

#### イ イベント内容の見直しについて

平成23年度以前から実施している25件のイベントのうち、イベントの内容について見直しを行ったことがあるものが21件、見直しを行っていないものが4件であった。

見直した項目は、表5のとおりであり、「イベントの内容」、「イベントの規模」、「イベントの実施時期」の見直しが多くなっている。

また、見直していない理由としては、「予算の関係で新規の取組等が厳しい」、「プログラムが決まっている」、「参加者のアンケート結果が良好」等であった。

表5 イベントの見直し状況（複数回答） (単位：件)

	イベント数
イベントの内容	16
イベントの規模	10
イベントの実施時期	9
イベントの実施期間	2
その他（開催場所等）	3

## 2 イベントの計画策定について

30件全てのイベントにおいて、事前に実施計画書及びマニュアル（日程、行程表、役割分担、連絡体制等）を策定していた。関係スタッフへの周知状況については、表6のとおりである。マニュアル化して配布したものが26件、口頭で周知したものが4件という状況であり、計画策定及びスタッフ・関係者間での情報共有については適切に行われていた。

また、実施マニュアルの良い事例の記載項目は、表7のとおりであり、細かな当日の対応まで網羅されている状況であった。

表6 関係スタッフへの周知状況 (単位：件)

	イベント数
マニュアル化して配布した	26
口頭で周知した	4
合計	30

表7 実施マニュアル記載事項 (参考例)

項目	内容
実施概要	目的、日時、場所、内容、組織図等の記載
タイムスケジュール	個別のイベントスケジュールの記載
天候別の実施方法等	天候別の実施方法や天候による中止の場合の記載
広域マップ・周辺駐車場	イベント会場の広域マップや周辺駐車場の記載
会場レイアウト	主要会場のレイアウトの記載
会場アクセス概要	会場までのアクセス方法を記載
出展団体・出演団体	出展団体・出演団体全てを記載
スタッフ全体スケジュール	スタッフ担当別スケジュールの記載
スタッフ名簿	参加スタッフの記載
留意事項	当日の注意事項、危機管理について等の記載

### 3 イベントの運営について

#### (1) イベントの実施形態について

実施形態は、表8のとおりである。県単独主催が13件と最も多く、共催(市町村・学校・関係団体等)が10件、実行委員会形式(ちばアクアラインマラソンや県民の日行事等)が5件、その他が2件となっている。

その他の2件については、既存の協議会が主催となっているもの(県は協議会構成員)と、複数回のイベントを実施する中で、回ごとに主催や共催等実施形態が異なるものである。

表8 イベントの実施形態 (単位：件)

	イベント数
県単独主催	13
共催	10
実行委員会形式	5
その他	2
合計	30

#### (2) 共催、実行委員会形式における役割分担について

共催や実行委員会形式でイベントを実施することは、予算面や集客面でのメリットの他に、各主体の意見を取り入れながら適切なパートナーシップを築くことができることや、それぞれの団体が持っている情報やノウハウ、人的パワーなどを活用できるという利点を持っている。

共催、実行委員会形式いずれについても、費用負担や広報活動等といった役割が明確に分担され、実施されることが望ましいが、30件のうち共催、実行委員会形式により実施されている15件については、県主導で組織・運営され、費用も全額を県が

負担するといったものも多く見受けられた一方、県は費用負担のみの関与にとどまり、ほぼ運営にタッチしていないものも見られた。

### (3) 県庁内他部局等との連携について

イベントにおける他の部局等との連携については、表9のとおりである。イベント実施に当たって、他の部局等と何らかの連携を行ったものが21件、連携を行わなかったものが9件であった。連携を行った21件については、観光誘致、農林水産物販売促進、ちばアクアラインマラソンPR等のためにパンフレットや啓発物資の提供を受けたり、相乗効果を狙って他部局のイベントとの同時開催などが見られた。

表9 他部局との連携状況 (単位：件)

	イベント数
連携を行った	21
連携を行わなかった	9
合計	30

### (4) 類似イベント（他の機関）の把握について

効果的にイベントを実施するために、他県や市町村も含め他の機関で実施している類似イベントを把握していたかについては、把握していたものが26件、把握していなかったものが4件であった。26件のうち、その情報をどのように活かしたかについては表10のとおりである。「内容を重複させない」、「他のイベント開催日周辺を避ける」といった調整を行っていたものもあったが、大部分は特に影響はないとして内容や時期の調整等は実施していなかった。

また、把握していなかった4件については、他に類似のイベントはなかったというものである。

表10 類似イベントを把握しての対応 (単位：件)

	イベント数
類似イベントを把握したが調整は不要であった	22
類似イベントと内容の重複を避けた	2
類似イベントの開催時期に近くならないよう調整した	2
合計	26

### (5) 開催時期・会場設定について

#### ア 開催時期について

開催時期を設定するに当たって、考慮した点は、表11のとおりであり、主に「参加しやすい曜日」、「季節的要素」、「参加しやすい時間」を考慮してイベントが実施されたことがわかる。

また、その他としては、「県民の日の前後」、「類似イベントとの重複を避けた」、「全国的に定められた運動期間内に実施する」などであった。

表 1 1 イベントの開催日で考慮した項目（複数回答） （単位：件）

	イベント数
参加しやすい曜日	1 8
季節的要素	1 5
参加しやすい時間	1 2
他のイベント等との同時開催	6
その他	1 3

### イ 会場の設定について

会場の選定に当たり検討した点は、表 1 2 のとおりであり、主に「予算」、「収容能力」、「公共交通機関の利用の便」を検討して会場を選定していることが分かる。

その他として「雨天時の対応」、「自然環境」、「使用機器の状況」「千葉県の魅力をアピールできるか否か」、「地域間のバランス」等であり、イベントの内容によって検討する項目も異なっている。

また、イベントの性格上、主催する所属の事務所や学校等を会場にするなど無料の会場を利用するイベントが多数見られた。

表 1 2 会場の選定で検討した項目（複数回答） （単位：件）

	イベント数
予算	1 8
収容能力	1 7
公共交通機関の利用の便	1 4
空き具合	1 1
駐車場	8
バリアフリー	2
託児施設	0
その他	1 3

### ウ 会場使用料の有無について

会場使用料の有無については、表 1 3 のとおりである。有料の会場での実施が 1 1 件、無料の会場での実施が 1 9 件であった。

上記「イ 会場の設定について」でも述べたが、会場の選定に当たっては、1 8 件のイベントにおいて予算面の検討がなされ、関係市町村や関係団体と協議し、使用料が安価な会場や無料の会場で実施するなど、経費節減に努めていた。

表 1 3 会場使用料の有無 （単位：件）

	イベント数
有料の会場で実施した	1 1
無料の会場で実施した	1 9
合 計	3 0

## (6) 参加者・申込方法について

### ア 参加者について

主な参加対象者については、「日本デーにおける千葉県PRブース」、「ちばアクアラインマラソン」などの広く県外にも内容をPRする性格のものについては、「特に制限を設けない」（10件）としており、「第10回印旛沼流域環境・体験フェア」、「千葉港まつり」などの千葉県民を主な対象としてイベントを実施するものについては、「千葉県民」（12件）としていた。「その他」（8件）については、「技術高度化を目指す中小企業」、「小中高生・求職者」、「県営水道利用者」など、ある程度ターゲットを絞った参加者を想定しているものであった。

### イ 参加費について

参加費の有無については、表14のとおりである。参加費を徴収しているものは4件で、内訳は参加費を事業費の財源の一部としているものが2件、食費・宿泊費等の実費相当分を徴収しているものが2件であった。

参加費が無料のものは26件と大多数を占めており、現時点で有料化を検討しているものはなかった。参加費を徴収しているイベントは、「県民の日行事：しおさいコンサート」における楽器の演奏技術や「ちばアクアラインマラソン」におけるマラソンのタイムなど、一定以上の技能を有する者が、参加料を支払ってでも自己の研さんの成果を披露することに価値を見いだせる性格のものに限られているのが現状であり、一般的には有料とすることで参加者が大幅に減少するデメリットが大きいと考えられる。

表14 参加費の有無 (単位：件)

	イベント数
参加は有料（一部有料）であった	4
参加は無料であった	26
合計	30

### ウ 参加者の募集定員（人数制限）について

参加者の募集定員（人数制限）については、表15のとおりである。募集定員を決めていたものが13件、決めていなかったものが17件であった。募集定員を決めていた主な理由は、会場（乗り物）の収容人数（乗車可能人数）や過去の実績から判断した対応可能な人数であった。

表15 募集定員（人数制限）の設定状況 (単位：件)

	イベント数
募集定員（人数制限）を決めていた	13
募集定員（人数制限）を決めていなかった	17
合計	30

### エ 参加者の事前申込みについて

参加者の事前申込みの状況については、事前に参加申込みを募ったものが15件、参加申込みを募らなかったものが15件であった。また、事前に参加申込みを募った場合の申込方法の状況は、表16のとおりである。FAX、はがき、インターネ

ット（メール含む）を申込方法としているイベントが多い状況であった。

なお、実際の申込状況については、FAXやはがきが利用されるケースが多く、複雑な手続とのイメージがあるインターネットの利用は敬遠される傾向にあった。

また、その他の申込方法は、「委託業者からの募集」、「イベントを誘致する者が独自に募集」であった。

表 1 6 事前の参加申込方法の状況 (単位：件)

はがき	電話	FAX	インターネット (メール含む)	専用申込用紙	その他	イベント数
○			○			2
	○	○				2
		○	○			2
			○	○		2
○						2
○	○					1
○		○				1
		○				1
					○	2
合 計						15

## (7) イベントの委託について

### ア イベントの委託状況について

イベントの委託状況については、表 1 7 のとおりである。「外国人による千葉県体験モニターツアー」や「水道出前講座」など企画・運営等全てを委託しているものが 5 件、「いまが旬！「食の宝庫ちばから農林水産物の魅力発信」イベント」や「警察「ふれあい」フェスタ 2012」など、一部の業務を委託したものが 10 件、「帰宅困難者対策訓練」や「環境研究センター公開講座」など委託しなかったもの（直営）が 15 件であった。

業務を委託する理由については、「旅程の管理や音響・照明など専門的な外部の業者等を利用することで、事業効果が高まる」という理由が多く、その他として「直営に比べて機動性に優れているため日時・時間など申込者の希望に対応できる」や「イベントの規模や内容的に直営での実施が困難」という理由であった。

表 1 7 イベントの委託状況 (単位：件)

	イベント数
全部委託した	5
一部委託した	10
委託しなかった	15
合 計	30

### イ 参加者等の個人情報の取扱いについて

イベントの実施に当たり、業務の全て又は一部を委託した 15 件のうち、業務の委託先に参加者等の氏名、団体名、住所、電話番号などの個人情報を取り扱わせたものは表 1 8 のとおり 6 件であった。

なお、参加者等の個人情報を取り扱わせていた6件については、個人情報取扱特記事項を盛り込んだ業務委託契約を締結しており、適正に処理されていた。

表18 個人情報の取扱状況 (単位：件)

	イベント数
委託先に個人情報を取り扱わせた	6
委託先に個人情報を取り扱わせなかった	9
合計	15

## (8) イベント当日の実施状況について

### ア ボランティアの協力状況について

ボランティアの協力状況については、表19のとおりである。何らかの協力を受けたものは8件のみであった。

また、ボランティアの協力を受けた8件について、ボランティアの総数(実人数)は3,480人であり、イベントに参加している関係団体員や主催者側の募集により参加した一般人など、各イベントにより異なるが、数多くのボランティアが参加している状況であった。

ボランティアの存在は、イベントスタッフとしての一面はもとより、ボランティア同士のつながりを最大限活かした広報活動を期待できるという側面も持っており、良好な関係の構築が重要である。

表19 ボランティアの協力状況 (単位：件)

	イベント数
ボランティアの協力を受けた	8
ボランティアの協力を受けなかった	22
合計	30

### イ イベント当日のスタッフ数について

イベント当日のスタッフ数については、表20のとおりである。スタッフ数が1～15人のものが17件と比較的少数で対応しているものが過半数を占める状況であった。

表20 イベント当日のスタッフ数(ボランティア除く)(単位：件)

	イベント数
1～15人	17
16～30人	5
31～100人	4
101～200人	2
201人～	3
合計	30

### ウ イベントの実施日について

イベントを実施した曜日については、表21のとおりである。「県民の日行事」や「第10回印旛沼流域環境・体験フェア」のように幅広い客層を呼び込むため休日

に実施したものが16件、「中小企業等技術力高度化支援研修」や「スケアード・ストリート教育技法による自転車交通安全教室」のように企業の技術者や学生を対象とするため平日に実施したものが9件あったほか、「第469回NACS-J自然観察指導員講習会」のように平日、休日を含め数日にわたりイベントが実施されるものや、「水道出前講座」のように申込者の希望に合わせ休日でも平日でも対応するものなどが5件であった。

休日に実施されるイベントが多い状況であったが、これは、13ページの「(5)開催時期・会場設定について」でも述べたように、参加しやすい曜日を考慮した結果が活かされている状況であった。

表2-1 イベントの実施状況（実施している曜日）（単位：件）

	イベント数
休日に実施している	16
平日に実施している	9
平日及び休日に実施している	5
合計	30

#### エ 休日に実施した場合の勤務体制について

職員の服務については、休日にイベントを実施した21件のうち19件が勤務時間の割振り変更で対応しており、その他、業務従事時間が短時間という理由から時間外手当の支給で対応しているものが1件、休日の対応については受託業者が行うというものが1件と、イベントを休日に実施した場合の職員の服務については、適正に対応されていた。

#### オ 参加者に提供した物資・サービスについて

参加者に提供した物資・サービスについては、表2-2のとおりである。チーバくんグッズやイベントに特化したグッズ等を配布する「無償での物品の提供」が15件、次いで特定の食材を使用したレシピや試食品等を提供する「無償での試食・食事の提供」が4件とイベント本来の目的に沿ったサービスは充実していた反面、幅広い層の集客に有効だと考えられる「託児」、「点字ガイド」、「介助サービス」については、それぞれ0件であった。

また、その他として、「車いすの対応」、「日本文化の体験（外国人向け）」等のサービスが実施されていた。

表2-2 参加者に提供した物資・サービス（複数回答）（単位：件）

	イベント数
無償での物品の提供	15
無償での試食・食事の提供	4
通訳・翻訳	1
手話通訳	1
託児	0
点字ガイド	0
介助サービス	0
その他	7

#### 4 イベントの広報について

##### (1) 広報の方法について

広報の実施方法は、表23のとおりである。「千葉県ホームページ」が24件、「刊行物・チラシ」が20件、「県民だより」が13件と多い状況となっている。

また、ツイッターやフェイスブック等のSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を利用しているものは3件であった。

その他の方法として、地域情報誌、関係機関のメールマガジン、雑誌掲載、主催者や会場を運営する会社のホームページ等で広報が行われていた。

全体的に広報については、複数の広告媒体を活用し、なおかつ、無料の広告媒体での広報を積極的に活用する姿勢が見られた。

表23 広告媒体の利用状況（複数回答） (単位：件)

	イベント数
千葉県ホームページ	24
刊行物・チラシ	20
県民だより	13
関係市町村の広報誌	10
新聞	9
ラジオ	9
ポスター	9
テレビ	7
SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）	3
関係団体の広報誌	3
その他	13

##### (2) 広報手段別の効果について

広報手段別の効果（参加者がどの広報手段によってイベントを知ったか）の把握状況については、表24のとおりである。把握していたものが13件、把握していなかったものが17件であり、どういった広報手段が効果的であるかを把握していなかったケースが過半数を占める状況であった。

効果を把握していた13件のイベントの大半が、アンケート調査により把握しており、中には参加者に直接聞き取りをしているイベントも見られた。

表24 広報手段別の効果の把握状況 (単位：件)

	イベント数
広報手段別の効果を把握していた	13
広報手段別の効果を把握していなかった	17
合計	30

##### (3) マスメディアからの取材状況について

マスメディアからの取材の状況は、表25のとおりである。半数以上の17件が何らかの形でメディアの取材を受けており、更に取材を受けた全てのイベントの実施状況が新聞記事（全国紙や地域新聞）やテレビ放映などで取り上げられていた。

表 2 5 マスメディアからの取材状況 (単位：件)

	イベント数
取材あり	17
取材なし	13
合 計	30

#### (4) イベント実施結果の公表について

イベント実施後の結果の公表状況については、表 2 6 のとおりである。県のホームページ等で公表したものが 13 件、公表しなかったものが 17 件と、事後広報については、さほど重要視されていない傾向が見受けられた。

表 2 6 イベント実施後の結果の公表状況 (単位：件)

	イベント数
公表した	13
公表しなかった	17
合 計	30

### 5 イベントの効果の検証について

#### (1) 参加者へのアンケート調査の実施について

参加者へのアンケート調査の実施状況については、表 2 7 のとおりである。実施したものが 18 件、実施しなかったものが 12 件であった。

また、参加者へのアンケートを実施した 18 件のうち回答率が 50 パーセントに満たないものが 8 件あり、アンケート用紙の配布方法や回収方法など、アンケートの実施方法に課題が残る状況になっている。

表 2 7 参加者へのアンケート調査の実施状況 (単位：件)

	イベント数
アンケート調査を実施した	18
アンケート調査を実施しなかった	12
合 計	30

#### (2) アンケート結果の集計・分析について

参加者へのアンケート調査を実施した 18 件の全てのイベントにおいてアンケート結果の集計・分析等が行われており、そのうち 17 件については、次回のイベントに分析結果を反映させていた。

なお、参加者からの意見等により反映させたものとしては、内容に関することや運営に関する事など様々であるが、参加者から直接生の声を聞くことができ、イベント主催者側からの立場では気付かない部分に対する意見等もあることから、参加者へのアンケート調査を実施し、集計・分析を行う意義は大きい。

#### (3) イベント実施による効果の目標設定について

イベントの実施による効果の目標設定については、表 2 8 のとおりである。効果の目標を定めていたものは 12 件であり、主な内容は、「経済波及効果」、「地域の魅力を発信するために地元物産の完売や無料試食の完食」、「提供したサービスへの満足度」、

「千葉県の魅力を発信する情報の閲覧数」等であった。

定めていなかった18件のイベントについては、「定量的指標の設定が困難」、「普及・啓発が目的のため短期的には検証不能」という理由が大半であった。

表28 イベント実施による効果の目標設定状況 (単位:件)

	イベント数
目標を定めていた	12
目標を定めていなかった	18
合計	30

#### (4) 目標の達成状況について

イベントの実施による効果の目標を定めていた12件のイベントにおける目標の達成状況については、表29のとおりである。目標を達成できたものが8件、一部の目標のみ達成できたものが1件、目標を達成できなかったものが1件、目標の達成状況を確認する時期が未到来のものが2件であった。

一部の目標のみ達成できた1件と目標を達成できなかった1件については、原因についての検証が行われ、次回のイベント実施に反映されることとなっていた。

また、目標の達成状況を確認する時期が未到来の2件については、目標達成の確認に時間を要するため、現時点でもイベント実施の効果の集計等に努めている状況である。

表29 目標の達成状況 (単位:件)

	イベント数
目標を達成できた	8
一部の目標のみ達成できた	1
目標を達成できなかった	1
目標の達成状況を確認する時期が未到来	2
合計	12

#### (5) 費用対効果の分析について

費用対効果の分析の実施状況については、表30のとおりである。費用対効果の検証を行ったという回答は5件あったが、投入したコストとそれによる成果を数値的に検証しているものは一部であった。

また、効果の測定が困難などという理由から25件のイベントについては、費用対効果の分析を行っていなかった。

表30 費用対効果の分析状況 (単位:件)

	イベント数
費用対効果の分析を行った	5
費用対効果の分析は行わなかった	25
合計	30

## (6) イベントの実施記録について

実施記録については、30件全てのイベントで当日の内容等が記録されていた。記録の方法については、表31のとおりであり、文書や写真で後任者にも分かりやすいように記録されているものが多かった。その他「県民の日行事：県民の日かとり アマチュアをつどい バンド編」や「ヤングパワームーブメント」などのように映像による記録を残しているものが5件あるなど、適切に行われていた。

表31 イベントの実施記録方法 (複数回答) (単位：件)

	イベント数
文書で記録している	28
写真で記録している	28
映像で記録している	5

## 6 危機管理について

### (1) 危機管理に係る情報提供について

#### ア 危機管理マニュアル等の作成について

危機管理マニュアル等の作成状況については、表32のとおりである。独自の危機管理マニュアル等を作成しているイベントは、10件のみであったが、「使用会場のマニュアルに従う」、「所属の危機対応マニュアルに従う」、「参加者の安全管理も含め委託している」等何らかの対策を講じているものが多かった。独自マニュアルが作成されることが望ましいものの、おおむね危機管理の意識を念頭にイベントが実施されている状況であった。

一方で、上述の危機管理の対策が講じられていない上に、参加者に対するの安全管理のための情報提供についても行われていなかったものが3件あった。

表32 危機管理マニュアルの作成状況 (単位：件)

	イベント数
独自の危機管理マニュアルを作成している	10
独自の危機管理マニュアルを作成していない	20
合計	30

#### イ 救護室・救護医薬品セット等の用意について

救護室・救護医薬品セット等の用意の状況は、表33のとおりである。用意していたものが18件、用意しなかったものが12件という状況であった。

また、用意しなかった12件のうち、イベントの実施場所が学校(保健室がある)のために独自で救護室・救護医療薬品セット等を用意する必要がなかったと考えられる3件を除く9件については、不慮の事故などに備えて最低限の用意は必要だと考えられる。

表33 救護室・救護医薬品セット等の用意 (単位：件)

	イベント数
用意していた	18
用意しなかった	12
合計	30

## (2) 保険の加入について

イベントにおける保険の加入状況については、表34のとおりである。傷害保険に加入していたものが13件、損害賠償保険に加入していたものが6件、ボランティア保険に加入していたものが1件、イベント保険に加入していたものが1件、加入しなかったものが14件であった。

表34 保険の加入状況 (複数回答) (単位: 件)

	イベント数
傷害保険に加入していた	13
損害賠償保険に加入していた	6
ボランティア保険に加入していた	1
イベント保険に加入していた	1
加入しなかった	14

## 第4 監査意見

30件のイベントを抽出し、主に経済性、効率性、有効性の観点から着眼点に基づき監査を実施した。本県においても県の行政目的を実現させるための手段として、多種多様な形態・内容のイベントが実施されていた。

効果的な取組であると認められる事例があった半面、改善を要すべき事例も見受けられたので、今後、イベントを実施する際には、以下の意見に留意し、効率的、効果的な運営に努められたい。

### 1 イベントの目的及び必要性について

#### (1) イベントの目的について

イベントの目的については、監査対象となる30件のイベントのうち「施策・事業の周知、PR」が18件、「参加・体験機会の提供」が13件、「千葉県の魅力発信」が11件、「地域やコミュニティの活性化」が9件、「特定事項の知識の習得、技能の向上」が8件、「県産品の利用・販売促進」が4件、「スポーツの振興」が3件といった順となっていた。

他の事業形態よりもイベントに親和性が高いと考えられる「周知」、「提供」、「魅力発信」といった目的のために多く活用されている現状が伺えた。

また、特にこれらの目的とイベント内容がかい離して行われているものはなかった。今後も行政目的実現のために有効なイベントとなるよう不断の検証に努められたい。

#### (2) イベントの必要性及び見直しについて

各イベントは、それぞれの行政目的に沿って始められており、必要性があるということで実施されている。

しかし、長期にわたって継続されているイベントについては、実施すること自体が目的化し、当初の目的は忘れ去られ、ただ漫然と毎年度繰り返される危険に陥りやすい。また、歴史が浅いイベントや単年度限りのイベントについても、本当にこのイベントが一番効果があるのか、他の有効な手段はないのか十分な検証が必要である。

そのためには、終期の設定やイベント効果がどのように浸透しているかについて絶えず検証を行い、必要性についての見直しを実施することが求められる。

継続実施されているイベント25件のうち、19件については継続の是非について検討されていたが、6件については検討されていなかったので今後は検討するよう努められたい。

また、25件のうち21件については、適宜イベントの内容を検証し、次年度以降のイベント内容に検証結果を活かしていた。内容の見直しを行っていなかった4件につい

ては、「予算の関係で新規の取組は困難」「アンケート結果が良好であったため」等の理由によるものであったが、お金をかけなくても工夫は可能であり、現状で満足することなく、常に県民ニーズを把握し、より良いイベント内容となるよう検証されたい。

特に継続年数が長期にわたるイベントは、イベントが開始された当時とは社会情勢、県民のニーズといったものが大きく変化していることに留意し、継続の是非とともに、時勢に合った内容となるよう、実施形態、内容等について十分検証されたい。

## 2 イベントの計画策定について

イベントを成功させるためには、入念な準備の下、詳細な計画を立てることが重要である。全てのイベントにおいて実施計画やマニュアルが作成され、関係者や従事者に文書若しくは口頭にて周知されていた。

また、民間団体が主催している既存のイベントと協力を図ることで、民間の発想を取り入れたり、ボランティアに積極的に参加してもらえるよう内容を見直し、経費節減や集客アップにつなげたイベントがあったほか、開催時期についても、集客等の面で最も効果のある季節、曜日、時間等に配慮して計画を立案しているものが多く、相乗効果を狙った他のイベントとの同時開催、他県からの来場者の利便性に配慮した会場設定などの取組が見られた。

特に平成24年度最大のイベントといえる「ちばアクアラインマラソン」との相乗効果を狙い、時期、会場を選定したイベントとして、「東アジアからの千葉県体験モニターツアー事業」や「食の宝庫ちばから農林水産物の魅力発信」など複数見られた。

今後もイベントの計画策定においては、より効果が期待できるような工夫に努められたい。

### 参考事例

商工労働部観光誘致促進課で実施している外国人を対象とした体験モニターツアー事業は、台湾、シンガポール、タイなどの経済発展が著しいアジア諸国にターゲットを絞り、関係者を本県に招き体験モニターとして県内観光地等を巡り、本国に帰って千葉のPRをしてもらうという取組である。このモニターツアーを実施するに当たり、例えばブログやフェイスブックが普及している台湾については、口コミの効果を狙って大学生を、団体旅行が多いタイについては、情報発信力のあるメディア関係者というように、各国の実情に合わせてきめ細かくモニター対象者を選定し、より効果的なイベントとなるよう工夫されていた。

### 3 イベントの運営について

#### (1) イベントの実施形態について

イベントの実施形態については、県単独主催、共催、実行委員会形式と様々であり、更に一部若しくは全部を業務委託しているものなど多様であった。各イベントにとって最も適した実施形態を選択できるよう常に検証を行うことが必要であるが、共催及び実行委員会形式で行われているイベントの役割分担については、やや不明確な部分も一部見られ、県の関与が実質経費負担のみにとどまり、ほとんど運営にタッチしていないものが見受けられた。共催、実行委員会形式とはいえ、県が参加している以上、行政目的の実現のために有効な関与の在り方について検討されたい。

#### (2) イベントの連携について

イベントを実施するに当たり、広報や啓発物資の配布のために観光、企業誘致、農林水産物販売部門等との連携を図った「日本デーにおける千葉県PRブース」や、ちばアクアラインマラソン、観光部門等との連携を図った「千葉の元気発信CM・ショートムービーコンテスト」等が見られた。他団体が開催するイベントと同時開催することで集客増加を図るため、県立大多喜高校の文化祭と連携を図った「夷隅の魅力と音楽に触れるローカル鉄道の旅」や佐倉市が実施するイベント「印旛沼一斉清掃」と連携を図った「第10回印旛沼流域環境・体験フェア」等が見られた。こういった取組は、予算的に厳しい運営を強いられる昨今のイベントにおいて、相乗効果を生み出すなど効果的な試みであると考えられる。

今後も他部局や他団体との積極的な連携を図り、イベント効果が高まるような工夫に努められたい。

#### (3) 会場選定について

イベントの会場を選定するに当たり検討した要素として、30件のイベント中、「予算」が18件、「収容能力」が17件、「交通の利便性」が14件と上位を占めている（複数回答あり）。イベントの性格にもよるが、基本的にこれらの要素を検討材料として判断するのは当然であるが、「バリアフリー」を考慮したものは2件、「託児施設」を考慮したものは0件となっている。こういった要素を考慮し会場を選定する場合、予算が増加し、会場の選択肢も狭まるというデメリットは考えられるが、イベントの効果を高めるため可能な限り広い層から参加者を募るため、より参加者・来場者の利便性に配慮した会場選定について検討されたい。

#### (4) イベントの委託について

イベント担当者が、スタッフ数が不足していたとの認識を持つイベントが見られたが、スタッフの配置を見直すなど、効果的な運営についての工夫を図るとともに、県の「行政改革計画」で示されているように、委託することにより迅速化や効率化が図れる事業については、費用対効果や事務量軽減効果等を見極めた上で民間委託の実施について検討されたい。

また業務を委託した場合、イベントが契約書どおり実施されているかについて絶えず検証を行うなど、適切な県の関与に努められたい。

#### (5) 参加者に提供した物資・サービスについて

イベント参加者に対し提供した物資・サービスとして、30件のイベント中「無償での啓発物資等の提供」が15件、「無償での試食・食事の提供」が4件という順になっている（複数回答あり）。これらのサービスについてはイベントを構成する要素そのものというべきであり、ある意味当然のサービスであるが、「通訳・翻訳」が1件、「手話通訳」が1件、「託児」、「点字ガイド」、「介助サービス」についてはそれぞれ0件という結果となっている。

「(3) 会場選定」についても同様であるが、可能な限り幅広い層から参加者を募るためには、これらの一步進んだサービスの取組が有効と考えられるので、今後は実施について検討されたい。

### 4 イベントの広報について

#### (1) 広報の方法と効果について

イベントの成功の鍵は広報にあるのではないかと考えられるくらい重要な要素であり、各イベントにおいても様々な広報手段を活用し周知に努めていた。30件のイベントのうち県のホームページによる広報の実施率が一番高く24件、次いで独自のチラシや刊行物によるものが20件、県民だよりが13件という順であった（複数回答あり）。このうち、どの広報が一番効果的であったかについては、アンケート調査の結果等によると、県民だよりや市の広報誌、独自に作成したチラシといった紙媒体によりイベントを知ったというケースが多かった。紙媒体による周知が効果的であるという現状が伺えるので、今後もこれらの手段による広報を充実させるよう努められたい。

なお、県のホームページによる広報の実施率が一番高かったのにもかかわらず、これによりイベントの実施を知ったというケースは比較的少数であった。不特定多数の人が簡単に閲覧できる媒体であることから、有効に活用されれば大変効果的と考えられるので、各所属において掲載時期や内容を工夫することは当然として、ホームページを管理する部局においても、地域別・イベントの性格別に検索できるようにす

るなど、閲覧者の利便性に最大限配慮したホームページとなるよう構成について検証されたい。

## (2) メディアの取材について

30件のイベント中、半数以上の17件のイベントにおいて、何らかの形でメディアの取材を受け、テレビで放映されたり、紙上に掲載されていた。実施されたイベントがこれらメディアに取り上げられることは、二次的効果として当日参加した人以外にも様子が伝わるため、取材については積極的に対応されるよう検討されたい。

なお、13件のイベントについては取材を受けていなかったため、「広報活動の充実」や「イベント内容の充実」等に努め、メディアの活用について工夫を図られたい。

## (3) イベント実施結果の公表について

イベントの実施結果をホームページ等で公表することは、参加できなかった人にもイベントの内容を知ってもらう機会を提供するという意味で、メディアの取材と並んで有効な手段である。しかし、半数近くのイベントにおいて事後公表が行われていなかったため、今後は事後広報の実施について十分検討されたい。

### 参考事例

「悪徳商法撲滅に向けた消費生活被害対策キャンペーン」においては、イベントで作成されたCMを病院や銀行のロビーで放映し、「千葉の元気発信CM・ショートムービーコンテスト」においては、イベントの優秀作品を県庁1階ロビーやインターネット上の動画共有サイトで視聴可能とするなど、イベント終了後も不特定多数の人の目に触れるような取組を行っていた。これらの取組は、イベント効果を持続的に継続させる試みとして有効であると考えられる。

## 5 イベントの効果の検証について

### (1) アンケート調査の実施について

イベントを実施したことによりどのような効果があったかを客観的に示すことは困難な面もある。そういう意味では、参加者から直接意見を聞く方法としてのアンケート調査は重要である。

30件中12件のイベントにおいてアンケート調査を実施していないという結果であった。街頭キャンペーンや多数の来場者があるようなイベントについては実施が困難ということはあるが、そのようなイベントについても抽出により実施したり、アンケートの依頼を啓発物資とともに配布し、後にインターネット等を活用して回答ができるような環境を設けるなどの工夫について検討されたい。

また、せっかくアンケートを実施しているのに回答率が低いイベントが多数見受けられた。イベント終了後、箱にアンケート用紙を投かんしてもらおう方式の場合、回収率が低い傾向にあるようなので、直接担当者が回収するよう努め、回答者には抽選等で何らかのインセンティブを付与するといったような回収率アップにつながるような方策を検討されたい。

なお、アンケートを実施したイベントの大部分については、結果の集計・分析を行っており、集計結果を次回以降のイベントに反映させていた。

また、アンケートを実施しただけでは意味はないので、項目の選定にも留意しつつ、参加者の十分なニーズを把握し、より効果的なイベントとなるようアンケート内容の充実にも努められたい。

## (2) イベント効果の目標設定について

イベントを実施することにより得られる効果について、目標を定めているイベントは30件中12件に過ぎなかった。設定してない理由として(1)でも触れたように効果を検証することが困難なためという理由が多かった。目標を定めているイベントについても、客観的な指標を設定しているものは少数で、多くは「知識の普及」、「魅力の発信」、「意欲の向上」といった定性的なものであった。

客観的な指標の設定が困難なイベントにあっても、アンケート調査を活用し「満足度」を指標に設定するなど、可能な限り具体的に指標を設定するよう努められたい。

## (3) イベント効果の検証について

事業を推進するには、Plan（計画）、Do（実行）、Check（検証）、Action（改善）からなる「PDCA サイクル」を機能させることが不可欠である。イベントにおいても例外ではなく、常に内容を検証し、検証結果を次回に活かすというサイクルを続けていくことが求められる。イベントを実施する際には、常にPDCAを意識した、組織としてのマネジメントに努められたい。

### 参考事例

「帰宅困難者対策訓練」では、大規模な訓練を行うことにより、実際の災害が起きた場合に想定される「情報入手」、「情報伝達」、「滞在施設の設備」、「備蓄品の備え」等に関する多くの課題が抽出され、課題に対する詳細な対策が検討されている。PDCAサイクルが有効に機能している事例といえる。

## 6 危機管理について

### (1) 危機管理マニュアルの策定等の情報提供について

危機管理についてマニュアルを作成しているイベントは30件中10件であったが、「使用会場のマニュアルに従う」、「所属の危機対応マニュアルに従う」、「参加者の安全管理も含め委託している」等も含めると、何らかの対策が講じられているイベントが多く、危機管理意識については、ある程度浸透している状況が見られた。

なお、街頭等で行われるキャンペーンについては、危機管理を意識して実施している事例は見られなかったが、啓発物資等を入れた箱に通行人がつまずいて怪我をするといった事態も想定し得るので、街頭等で実施されるイベントにおいても、起こり得るリスクを想定し、対応方法等についてあらかじめ定めておくよう検討されたい。

また、イベント内容に危険な要素がないとの理由でマニュアルを作成していないケースも見られたが、大地震等の緊急自然災害はいつ発生するか予測不可能であるため、危機管理課の災害対応マニュアル等を参考に、各イベント内容に沿った緊急自然災害への対応についてのマニュアル作成を検討されたい。

さらに、マニュアルを作成することは大切なことであるが、作成したこと自体に満足せず、常に内容の見直しと改善に努められたい。

### (2) 保険の加入について

イベントを実施するに際し不測の事態に対応するためには、保険に加入することが有効である。30件中16件のイベントについては何らかの保険に加入しており、複数の保険に加入している例も見られた。

一般的な傷害保険や損害賠償保険のほかに、ボランティア保険やイベント保険といったものもあるので、必要に応じイベントの内容に合った保険の加入について検討されたい。

## 7 イベントに係る庁内の情報共有について

厳しい予算状況や限られた人員の中で、各所属は様々な工夫を凝らし、イベントの企画・運営に努力していた。中には、企画、広報、運営といった多くのイベントに共通する部分について他の参考となるべき取組と考えられるものも多かったが、各所属限り若しくは担当者限りのノウハウで終わっているという一面が見られた。

これら共通する部分のノウハウを全庁的に蓄積、共有、継承することにより、各担当者の事務が軽減され、業務の効率化につながると考えられる。より効率的にイベントが実施できるような仕組みの構築について関係部局で検討されたい。

また、各出先機関単位で開催されるイベントも多くあったが、中には効果的な取組として他の機関でも実施する価値があると考えられるイベントも存在した。しかしながら、

横のつながりが見られないため、当該出先機関のみの実施で終わっているのが実情であった。

出先機関において優れたイベントが実施されている場合は、本庁主務課が各出先機関に情報発信するなど、広範性を持たせる取組が有効と考えられるので検討されたい。

## 第5 おわりに

今回、行政監査のテーマとして「イベントの実施状況」を取り上げたところであるが、部局横断的に「イベント」に的を絞った調査の類いは今回が初めてのことと思われる。本県におけるイベントの概要、課題、今後の方向性等が、ある程度明らかになれば幸いである。

本県においてイベントは、「特定事項の知識の習得・技能の向上」、「施策・事業の周知・PR」、「千葉県の魅力発信」、「参加・体験機会の提供」、「地域やコミュニティの活性化」、「県産品の利用販売促進」などの名目の下、多種多様の形態、形式、内容により実施されていた。

自治体におけるイベントは、実施すること自体が目的ではなく、上位施策・事業を実現させるための一つの手段である、というのは当然のことであるが、今回監査を実施していく中で、各所属や担当者において、このような認識は意外に希薄であるとの印象は拭い切れなかった。再度原点に立ち返って、有効性、効率性の観点から必要な見直しを行っていただきたい。

一方、イベントは上手く行えば、集客性、体験効果、波及効果などの面から、他の事業形態では得られにくい効果を得ることができる手段であるといえる。「第4 監査意見」において個々に詳細な意見を述べるとともに、良好な具体事例についても紹介しているので、これらを参考とされ、今後の本県におけるイベントが、より効率的、効果的に運営されることを期待するものである。

平成24年度イベント一覧

※イベント形態は1会講・集会型 2展示型 3講座・学習型 4スポーツ・レクリエーション型 5その他

※イベント形式は1県主催 2共催 3実行委員会形式 4その他

※県費支出額の中には、財源が基金のものも含まれている

部局等	NO	イベント名	開催期間		開催場所		イベントの目的	参加対象者	イベント形態	開催形式	始期	参加者数(人)	事業費		委託の有無
			開催日数	開催日	会場名	会場名							事業費(円)	県費支出額(円)	
総務部	1	県民政治大学	10月22日 10月25日、10月31日 3日間	千葉市	千葉県	市民の政治や文化に関する意識の向上を図り、もって投票率の向上に努める。	一般県民	3	2	昭和45年度 未定	約1,000	1,145,162 1,145,162	無し		
総務部	2	第19回千葉県知事選挙に係る街頭啓発	3月8日、3月9日、3月13日、3月15日 4日間	勝浦市、千葉市、柏市	勝浦市、千葉市、柏市	第19回千葉県知事選挙の選挙啓発のため、イベントを開催し、街頭啓発を行う	限定なし	2	2	平成24年度 平成24年度	約2,000	2,179,650 2,179,650	有り		
総務部	3	県民の日葛飾地域行事 「葛南バスケットボールフェスタ～千葉ジェッツとバスケットを楽しもう～」	6月16日 1日	船橋市	船橋市	地元プロチームとのイベントを通じて、県民に千葉の魅力を確認・再発見してもらい、千葉を愛する心を育てる。	一般県民	4	3	平成23年度 未定	約1,100	908,340 908,340	無し		
総務部	4	県民の日東葛飾地域行事 「東葛まち歩きツアー」	6月10日 1日	松戸市、野田市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市	松戸市、野田市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市	県民が千葉の魅力を見直し、千葉を愛する心を育み、千葉アイデンティティ（千葉県民としての意識）を醸成する機会とする	一般県民	4	3	平成23年度 未定	300	474,138 474,138	無し		
総務部	5	県民の日印旛地域行事 「いっしょにふれあひ変フェスタ2012」	6月16日 1日	佐倉市	佐倉市	「県民の日」を定める条例の趣旨に則り、印旛地域の魅力を発信する。	限定なし	2	3	平成23年度 未定	不明 (雨天中止)	759,614 759,614	無し		
総務部	6	県民の日香取地域行事 「県民の日かとりアマチュアのつどいバンド編」	7月15日 1日	多古町	多古町	「県民の日」を記念して、地域の人々が交流できる場を設けることで、地域の「人」の魅力を再発見し、千葉を愛する心を育み、千葉アイデンティティを醸成する。	一般県民	4	3	平成23年度 未定	230	970,131 970,131	有り		
総務部	7	県民の日海浜地域行事 「海浜3市対抗カオケ大会」	7月14日 1日	鉾田市	鉾田市	県民が千葉の魅力を見直し、千葉を愛する心を育み、千葉アイデンティティを醸成する機会とする	千葉県民	4	3	平成23年度 未定	1,000	1,384,020 1,000,000	有り		
総務部	8	県民の日山武地域行事 「さんぷNo.1グランプリ2012 in大網白里町」	6月30日 1日	大網白里町	大網白里町	市町や各種団体等と連携して山武地域の魅力をPRし、千葉を愛する心を育み、千葉アイデンティティを醸成する機会とする。	限定なし	2	4	平成23年度 未定	4,000	1,639,788 804,788	無し		
総務部	9	県民の日東生地域行事 「親子で体験！長生の魅力再発見バスツアー」	6月16日 1日	管内	管内	県民が千葉の魅力を見直し、郷土千葉を愛する心を育み、千葉アイデンティティ（千葉県民としての意識）を醸成する機会とする	一般県民	5	3	平成23年度 未定	100	760,744 760,744	有り		
総務部	10	県民の日夷隅地域行事 「夷隅の魅力と言葉に触れるローカル鉄道の旅」	6月23日、12月8日、12月9日 3日間	夷隅郡大多喜町	大多喜町	千葉の魅力再発見の原点となる「県民の日」(6月15日)を記念し、市町・各種団体と連携して、夷隅地域の魅力あふれる文化や歴史・自然・産業等に触れ、体験することのできる行事を実施することによって、地域住民が自らの地域を再発見することにより、千葉を愛する心を育み、千葉アイデンティティを醸成する機会とする。	限定なし	3	3	平成23年度 未定	113	832,914 832,914	有り		

平成24年度イベント一覧

※イベント形態は1会講・集会型 2展示型 3講座・学習型 4スポーツ・レクリエーション型 5その他

※イベント形式は1県主催 2共催 3実行委員会形式 4その他

※県費支出額の中には、財源が基金のものも含まれている

部局等	NO	イベント名	開催期間		開催場所		イベントの目的	参加対象者	イベント形態	開催形式	始期 終期	参加者数(人)	事業費 (円)		委託の有無
			開催期間	開催日数	開催場所	会場名							事業費 (円)	県費支出額 (円)	
総務部	11	安房郡市社会人野球大会	8月5日～10月8日	8日間	館山市 県立館山運動公園、 館山市民運動場		県民の日を記念し、安房地域における多彩で個性あふれる文化や歴史に触れ、体感することを目的とする。	安房郡市内社会人野球チーム	4	2	平成14年度 未定	約405	692,326 180,000	無し	
総務部	12	県民の日安房地域行事 「しおさいコンサート」	6月10日	1日	館山市 南総文化ホール		県民の日を記念し、安房地域における多彩で個性あふれる文化や歴史に触れ、体感することを目的とする。	限定なし	4	2	平成9年 未定	1,172	515,247 180,000	無し	
総務部	13	県民の日安房地域行事 「ライトミュージックフェスティバル・イン・アワ」	6月10日	1日	館山市 南総文化ホール		県民の日を記念し、安房地域における多彩で個性あふれる文化や歴史に触れ、体感することを目的とする。	限定なし	4	2	平成8年 未定	約800	561,372 180,000	無し	
総務部	14	県民の日安房地域行事 「生き物博士「ゲッチョ先生」ちばの魅力・再発見講演会	6月10日	1日	館山市 館山市コミュニティセンター		県民の日を記念し、安房地域における多彩で個性あふれる文化や歴史に触れ、体感することを目的とする。	一般県民 (小学生、一般)	3	2	平成23年度 未定	124	151,802 151,802	無し	
総務部	15	県民の日君津地域行事 「君津地蔵ふるさと探検ツアー」	6月15日	1日	木更津市、袖ヶ浦市 陸上自衛隊木更津駐屯地、東 京湾アクアラインほか		県民に千葉の魅力を認識・再発見してもらい、千葉県に対する愛着や誇りをより一層感じてもらうことを目的とする。	一般県民	5	3	平成23年度 未定	76	368,655 368,655	無し	
総務部	16	古文書講座	10月11日～11月5日	9日間	千葉市 千葉県文書館		房総の歴史を伝える貴重な文化遺産である古文書を通して、房総の歴史を学ぶ。	一般県民	3	1	昭和63年度 未定	826	180,000 120,000	無し	
総合企画部	17	千葉県柏・流山地域国際学術都市づくりパ ネル展	3月12日～3月18日	7日間	柏市 イオンモール柏		柏・流山地域で行われている大学と地域が連携したまちづくりプロジェクトの成果の普及・定着を図る。	一般県民	2	1	平成23年度 平成24年度	不明	397,000 397,000	無し	
総合企画部	18	平成24年度 災害時外国人サポートセンター養成講座	1月19日、26日	2日間	千葉市 千葉市ビジネス支援センター (きぼーる)		災害時における外国人住民を支援するためのボランティアの養成及び、関係者とのネットワークづくりを目的とする。	一般県民	3	2	平成23年度 未定	108	372,810 372,810	有り	
総合企画部	19	日本デーにおける 千葉県PRブース	6月2日	1日	ドイツ・デュッセルドルフ市 ライン川沿い遊歩道		本県と友好関係にあるデュッセルドルフ市で開催される「日本デー」において、本県のPRを行う。	限定なし	2, 4	1	平成17年度 未定	5,000	299,938 299,938	無し	
総合企画部	20	上下交流事業	①7月下旬②8月上旬 ③11月上旬④11月中旬 ⑤1月下旬 ①2日②3日③1日 ④2日⑤1日 9日間		①栃木県日光市②群馬県吾妻郡長野町 ③四国高松市高松区木更日光市④高松市 ①日光市蒲川川②第一小学校③四国道中央公 園 ④日光市栗山地域⑤飯沼保線株式会社セ		ダム下流受益地である千葉県民の、ダムの役割や水源地域に対する理解を深める。	①県内小学5～6年生 ②県内小学4～6年生 ③限定なし ④県内小学生 ⑤限定なし	2, 3	3	平成4年度 未定	①40②40 ③不明 ④880 ⑤不明	4,081,490 320,000	無し	

平成24年度イベント一覧

※イベント形態は1会議・集会型 2展示型 3講座・学習型 4スポーツ・レクリエーション型 5その他

※イベント形式は1県主催 2共催 3実行委員会形式 4その他

※県費支出額の中には、財源が基金のものも含まれている

部局等	NO	イベント名	開催期間		開催場所		イベントの目的	参加対象者	イベント形態	開催形式	始期 終期	参加者数(人)	事業費 (円)		委託の有無
			開催期間	開催日数	開催場所	会場名							事業費 (円)	県費支出額 (円)	
総合企画部	21	成田空港新規就航記念イベント	3月31日 1日		成田空港及び大分空港 同上	成田空港に成田・大分線が新規就航することに伴い、千葉県及び空港周辺地域のPRや成田空港の国内線充実・利便性向上等のPRを行う。	成田・大分線 搭乗者ほか空港利用者	2	4 地域振興推進協議会主催 (県、空港周辺5市町、成田圏 際空港連携等)	H23 未定	不明	2,665,295 744,617	2,665,295 744,617	有り	
総合企画部	22	男女共同参画推進連携会議 全体会	12月17日 1日		千葉市 千葉市生涯学習センター	男女共同参画社会づくりのため、職場、学校、地域、家庭など社会のあらゆる分野における男女共同参画の自主的な取り組みを推進する。	一般県民	1	1	平成19年度 未定	99	223,980 223,980	223,980 223,980	無し	
総合企画部	23	男女共同参画社会づくりネットワーク会議	12月13日 1日		千葉市 千葉県青少年女性会館	県内の男女共同参画社会を目指す各団体の組織力を高め、県分野で活動する団体が、協力し合いながら、男女共同参画社会づくりに関わる団体間のネットワークを構築する。	女性団体 所属会員 一般県民	1	3 全県推進委員会(県、一般公 認議員6名)	平成3年度 未定	63	106,615 106,615	106,615 106,615	無し	
総合企画部	24	「女性に対する暴力をなくす運動」街頭キャンペーン	11月17日 1日		八千代市 イオンモール八千代線が丘	DVについて正しい知識、情報を提供し、一般県民へDV防止に対する意識啓発を図る。	一般県民	5	1	平成15年度 未定	3,000	202,650 202,650	202,650 202,650	無し	
総合企画部	25	千葉県男女共同参画センターフェスティバル	8月5日 1日		千葉市 千葉県青少年女性会館	男女共同参画の推進拠点としての男女共同参画センターの役割や事業を紹介するとともに、県民に男女共同参画をより身近なものと感じてもらい、理解を深める。	一般県民	1, 2	3 センターフェスティバル実行 委員会(県、一般公募)	平成18年度 未定	436	921,187 921,187	921,187 921,187	有り	
総合企画部	26	男女共同参画週間記念フォーラム	7月1日 1日		千葉市 千葉県青少年女性会館	県民に対し、男女共同参画の意識啓発	一般県民	1	1	平成19年度 平成24年度	52	196,740 196,740	196,740 196,740	有り	
総合企画部	27	女性リーダー養成講座	9月14日～3月8日 7日間		千葉市 千葉県青少年女性会館、千葉 市ビジネス支援センターほか	女性の人材育成	一般女性	3	1	平成18年度 未定	7	185,410 185,410	185,410 185,410	無し	
総合企画部	28	自己開発セミナー	2月9日 1日		千葉市 千葉県青少年女性会館	関係団体への委託による講座	一般県民	1	1	平成20年度 平成24年度	43	119,000 119,000	119,000 119,000	有り	
防災危機管理部	29	放射線に関する講習会	5月11日～1月11日 10日間		柏市ほか アミューゼ柏ほか	放射線の正確な知識と情報の提供について充実を図る。	一般県民	3	2 県(独)放射線医学総合研 究所	平成24年度 未定	806	184,827 184,827	184,827 184,827	無し	
防災危機管理部	30	第33回九都府県市合同防災訓練・千葉県会場訓練	9月1日～9月2日 2日間		市川市 江戸川河川敷緑地	訓練実施を通じて住民、自治体、防災関係機関、ボランティア等の連携を検証し、防災対策の充実・強化に資するとともに、防災意識の醸成を図り、もって県民の安全・安心な生活を確保する。	一般県民 防災関係機関 ボランティア ほか	5	2 県、市川市、県消防協会	昭和55年 未定	不明	13,951,472 11,799,794	13,951,472 11,799,794	有り	

平成24年度イベント一覧

※イベント形態は1会講・集会型 2展示型 3講座・学習型 4スポーツ・レクリエーション型 5その他

※イベント形式は1県主催 2共催 3実行委員会形式 4その他

※県費支出額の中には、財源が基金のものも含まれている

部局等	NO	イベント名	開催期間		開催場所		イベントの目的	参加対象者	イベント形態	開催形式	始期 終期	参加者数(人)	事業費 (円)		委託の有無
			開催期間	開催日数	開催場所	会場名							事業費 (円)	県費支出額 (円)	
防災危機管理部	31	津波避難訓練	10月28日	1日	旭市 飯岡小学校 他	旭市	東日本大震災の教訓を踏まえ、市では「津波避難計画」のうち、特に指定時間(30分)内の避難行動の運営について検証する。また、県では、関係機関相互の情報伝達について訓練するとともに、「千葉県津波避難計画策定指針」(H22年10月)の改訂に資する。	一般県民 防災関係機関 ボランティア ほか	5	2	平成24年度 未定	2,308	367,575 367,575	無し	
防災危機管理部	32	帰宅困難者対策訓練	11月9日	1日	千葉市 海浜幕張駅周辺	千葉市	情報連絡体制の確立及び帰宅困難者等の安全確保など今後の検討に資するため。	一般県民	5	2	平成24年度 未定	497	147,555 147,555	無し	
健康福祉部	33	千葉県人権啓発指導者養成講座	10月2日～10月23日	4日間	千葉市 千葉市文化センター	千葉市	職場や地域における人権啓発のリーダーを育成する	一般県民、行政職員、教員など	3	1	平成16年度 未定	760	1,806,000 1,380,618	有り	
健康福祉部	34	平成24年度 成年後見制度研修会	2月24日	1日	千葉市 生涯学習センター	千葉市	成年後見制度の普及と利用促進のため一般県民向け講習会を開催	一般県民	3	1	平成23年度 未定	245	543,806 543,806	有り	
健康福祉部	35	千葉県社会福祉大会	11月15日	1日	千葉市 千葉県青葉の森公園芸術文化ホール	千葉市	社会福祉に対する意識の高揚を図り、県内の社会福祉の一層の発展を目的とする。	一般県民	1	2	昭和26年度 未定	806	1,500,265 321,000	無し	
健康福祉部	36	平成24年度 地域福祉フォーラムシンポジウム	3月2日	1日	千葉市 生涯学習センター	千葉市	これまで地域福祉を担ってきた団体と新たな地域福祉の担い手が協働し地域の福祉力を高めるための組織である地域福祉フォーラムの設置を推進するたため、事業の周知を図るシンポジウムを開催	主として市町村・地区社会福祉協議会職員	1	1	平成16年度 未定	292	447,629 438,293	有り	
健康福祉部	37	健康ちば推進県民大会	1月26日	1日	千葉市 生涯学習センター	千葉市	健康づくりのため骨に関する知識や情報を提供し、県民とともに健康について普及・啓発を図る。	一般県民	1	2	平成16年度 未定	282	732,749 253,249	無し	
健康福祉部	38	かかりつけ医うつ病対応力向上研修会	2月21日	1日	浦安市 浦安プライムホテル	浦安市	一般のかかりつけ医に対し、適切なうつ病等精神疾患に関する診療の知識、技術及び精神科医との連携方法等に係る研修を実施し、うつ病等精神疾患の早期治療による一層の自殺対策の推進を行う。	一般医師	3	1	平成19年度 未定	94	1,800,000 900,000	有り	
健康福祉部	39	「しっかり運動、早ねおき朝ごはん」講演会	3月14日	1日	千葉市 京業銀行文化プラザ	千葉市	子どもの頃から正しい生活習慣を身につけることの重要性を保護者をはじめとする子どもととりまく大人に働きかける	子を持つ親等 一般県民	1	1	平成24年度 未定	185	840,000 420,000	有り	
健康福祉部	40	8020運動推進講演会事業(千葉県口腔保健大会)	11月18日	1日	千葉市 京成ホテルミラマール	千葉市	歯の健康づくりの推進	一般県民	1	2	不明 未定	241	691,000 691,000	無し	

平成24年度イベント一覧

※イベント形態は1会講・集会型 2展示型 3講座・学習型 4スポーツ・レクリエーション型 5その他

※イベント形式は1県主催 2共催 3実行委員会形式 4その他

※県費支出額の中には、財源が基金のものも含まれている

部局等	NO	イベント名	開催期間		開催場所		イベントの目的	参加対象者	イベント形態	開催形式	始期	参加者数(人)	事業費(円)		委託の有無
			開催期間	開催日数	開催場所	会場名							事業費(円)	県費支出額(円)	
健康福祉部	41	がん講演会	①9月9日②2月23日	2日間	①市原市 ②長生村	①ユニモちはら台 ②長生村保健センター	がんの予防・診断・治療等の最新の知識を広く県民に啓発する。	一般県民	1	2	平成元年 未定	①172 ②70	1,184,638 270,000	無し	
健康福祉部	42	がん予防展	①9月8日～9日 ②2月23日	①2日間 ②1日	①市原市 ②長生村	①ユニモちはら台 ②長生村保健センター	がんの予防・診断・治療等の最新の知識を広く県民に啓発する。	一般県民	2	2	昭和63年 未定	①7,700 ②600	がん講演会に含まれる がん講演会に含まれる	無し	
健康福祉部	43	在宅緩和ケアフォーラム	2月17日	1日	千葉市	千葉市文化センター	県民及び在宅がん緩和ケアに携わる関係者に対し、在宅緩和ケアについて普及啓発を図る。	一般県民	1	2	平成17年度 未定	500	750,000 375,000	有り	
健康福祉部	44	ピンクリボンキャンペーン	①9月22日②10月7日	2日間	千葉市	①QVCマリンフィールド ②フクダ電子アリーナ	がんのうち、唯一自身で調べることのできる乳がんの自己検診を普及することにより、乳がん検診への関心を高め、千葉県がん対策推進計画における受診率50%以上という目標を達成するとともにがんによる死亡率の減少を図る。	一般県民	2	2	平成19年度 未定	①4,000 ②4,000	1,191,150 596,150	無し	
健康福祉部	45	オレンジリボンキャンペーン	11月1日～11月30日	1日	木更津市	三井アウトレットパーク木更津	児童虐待とその通告先についての情報提供を行うことで、県民に児童虐待についての理解と関心を深めてもらう。	一般県民	5	2	平成18年度 未定	3,000	316,774 316,774	無し	
健康福祉部	46	シンポジウム「認知症の人と家族を支えるための地域連携体制」	2月2日	1日	千葉市	千葉県医師会会議室	認知症サポート医フォアアープ研修の一環として、認知症地域支援体制の構築に関するモデル事業や先進事例等の普及を図る。	認知症サポート医 市町村・地域包括支援センター職員 医師・介護等専門職	1	1	平成24年度 平成25年度	120	712,002 356,001	有り	
健康福祉部	47	認知症メモリーウォーク開催事業	10月6日、10月13日	2日	千葉市、館山市	青葉の森公園、 里見まつり会場内	認知症に対する正しい理解の普及啓発。	一般県民、介護者、認知症の方本人、関係者	5	3	平成19年度 未定	404	268,084 200,000	無し	
健康福祉部	48	地域支え合い体制づくり県民シンポジウム	11月10日	1日	千葉市	幕張メッセ	孤立化防止に対する地域支え合い体制づくりの必要性を周知する	一般県民	1	1	平成23年度 未定	200	9,849,053 9,849,053	有り	
健康福祉部	49	災害時における障害のある人への支援について考えるフォーラム	12月16日	1日	千葉市	千葉県教育会館	東日本大震災発生時及び震災後の取組を通じて、地域で安全・安心に暮らすためにはどういった支え合いや助け合いの取組が必要なのかが考えられる。	限定なし	1	1	平成24年度 平成25年度	不明	606,745 606,745	無し	
健康福祉部	50	心の健康フェア2012 in ちば	11月7日	1日	千葉市	千葉の森公園芸術文化ホール	精神障害のある方及びその家族、精神保健福祉関係団体並びに一般県民等が一堂に会し講演や作品展示等を通じて、精神保健福祉に関する理解の促進を図ること。(国が推進する全国精神保健福祉普及運動の一環)	一般県民	2,3	2	昭和57年度 未定	1,096	1,000,000 500,000	有り	

平成24年度イベント一覧

※イベント形態は1会講・集会型 2展示型 3講座・学習型 4スポーツ・レクリエーション型 5その他

※イベント形式は1県主催 2共催 3実行委員会形式 4その他

※県費支出額の中には、財源が基金のものも含まれている

部局等	NO	イベント名	開催期間		開催場所		イベントの目的	参加対象者	イベント形態	開催形式	始期	参加者数(人)	事業費(円)		委託の有無
			開催期間	開催日数	開催場所	会場名							事業費(円)	県費支出額(円)	
健康福祉部	51	心のふれあいフェスティバル	5月9日	1日	千葉市 千葉市中央公園、 千葉市文化センター	千葉市	障害者相互の、あるいは障害者と地域住民との交流を図り、精神障害者の社会復帰及び自立と社会参加の促進と地域住民の精神障害者に対する理解の促進を図る	一般県民	2、4	2	平成24年度 未定	1,270	240,000 120,000	有り	
健康福祉部	52	「看護の日の集い」中央行事	5月12日	1日	千葉市中央区 千葉市生涯学習センター	千葉市中央区	県民に看護についての関心と理解を深めてもらうことを目的とする。	一般県民	1、2	2	平成34年度 未定	6,027	3,150,000 101,430	有り	
健康福祉部	53	献血感謝のつどい	10月23日	1日	千葉市 千葉県文化会館	千葉市	献血運動の推進に功労のあった方、積極的に献血を続けてきた団体等を顕彰し、その功績に報いるとともに、広く県民の献血に対する理解と関心を深める	献血協力団体等	5	2	昭和58年度 未定	194	286,740 286,740	無し	
健康福祉部	54	食の安全に関するリスクコミュニケーション	12月19日	1日	千葉市 千葉市民会館	千葉市	リスクコミュニケーションを実施することにより、消費者や食品関連事業者、県などの関係者が、相互理解と共通した認識を得、共に力を合わせて取り組んでいくことにより、食品等の安全・安心の確保に資する。	一般県民	1	1	平成18年度 未定	61	101,270 101,270	無し	
健康福祉部	55	難病療養者家族のつどいサマースタート	8月5日	1日	市川市 メディアパーク市川グリーンスタジアオ	市川市	難病療養者及び家族への療養相談と生活支援	管内の難病療養者及びその家族	1	1	平成17年度 未定	62	144,660 144,660	無し	
健康福祉部	56	災害時医療講演会	2月19日	1日	市川市 市川文化会館	市川市	災害時における医療体制の整備・構築	県内市町村、 行政、災害医療担当者	1	1	平成24年度 平成24年度	92	141,380 141,380	無し	
健康福祉部	57	「減塩1g！」生活習慣病予防のための食生活改善の推進	4月1日～3月31日	24日	鎌子市、旭市、匝瑳市 旭林一ツの森体育館外20か所	鎌子市、旭市、匝瑳市	減塩意識の啓発・普及を図り、食生活の改善を推進する。	管内の県民	2、3	4	平成24年度 未定	1,769	516,638 516,638	無し	
健康福祉部	58	平成24年度「こころの健康フェア」	12月16日	1日	東金市 山武健康福祉センター	東金市	地域住民の精神の健康の維持、向上。知識の普及啓発	一般市民	1、2、3、4	1	平成24年度 未定	126	125,800 125,800	無し	
健康福祉部	59	Eイズ予防事業	4月1日～3月31日	9日間	東金市、山武市、横芝光町、大網白里市、九十九里町、芝山町 管内高等学校、サンピア城西国際大学、東金駅	東金市、山武市、横芝光町、大網白里市、九十九里町、芝山町	Eイズのまん延を防止するための正しい知識の普及・啓発と検査体制の充実	限定なし	3	1	不明 未定	3,133	333,521 333,521	無し	
健康福祉部	60	Eイズキャンペーン	①6月9日 ②7月27日	2日間	茂原市 ①茂原市市民会館 ②茂原七夕まつり会場	茂原市	広く一般県民（特に青少年）にEイズ予防を呼びかけ、早期発見のため、保健所での無料検査をアピールする。	一般県民	5	1	不明 未定	1,000	100,000 100,000	無し	

平成24年度イベント一覧

※イベント形態は1会講・集会型 2展示型 3講座・学習型 4スポーツ・レクリエーション型 5その他  
 ※イベント形式は1県主催 2共催 3実行委員会形式 4その他  
 ※県費支出額の中には、財源が基金のものも含まれている

部局等	NO	イベント名	開催期間		開催場所		イベントの目的	参加対象者	イベント形態	開催形式	始期 終期	参加者数(人)	事業費 (円)		委託の有無
			開催期間	開催日数	開催場所	会場名							事業費 (円)	県費支出額 (円)	
健康福祉部	61	青少年に対するエイズ・性感染症対策講習会	6月28日～3月21日	14日間	茂原市、一宮市	県立茂原樟陽高校他13箇所	青少年に対するエイズ・性感染症予防の普及啓発・教育を行う。	児童、生徒、教職員	3	2	平成14年度 未定	2,171	255,000 255,000	無し	
健康福祉部	62	薬物乱用問題を考える会	4月～3月	11日間	千葉市	千葉県精神保健福祉センター	薬物乱用・依存問題に悩んでいる家族や周囲の方々 が、この問題についての正しい知識と理解を深め、 対処方法を学ぶ。	限定なし	3	1	平成4年度 未定	380	266,400 266,400	無し	
健康福祉部	63	公開講座	10月8日、10月20日	2日間	千葉市美浜区、中央区	保健医療大学幕張キャンパス 仁戸名キャンパス	本学の教育研究の成果を県民に提供するとともに、 生涯学習の推進を図り、もって保健医療、福祉及び 文化の向上に寄与する。	一般県民	3	1	平成21年度 未定	211	212,415 212,415	無し	
健康福祉部	64	学校説明会	8月2日、9月7日	2日間	市原市	鶴舞看護専門学校	平成26年度入学希望者に学校概要を説明するため。	入学希望者	1	1	平成7年 未定	100	200,000 200,000	無し	
健康福祉部	65	なかよし動物フェスティバル2012	9月22日	1日	富里市	動物愛護センター	県民の動物の愛護と適正な飼養についての関心と理 解、動物愛護意識の普及・啓発活動を図る	一般県民	2, 4	2	昭和61年度 未定	1,053	657,950 257,950	無し	
環境生活部	66	夏季節電キャンペーン	7月21日～7月31日	5日間	千葉市、習志野市	000マリンワールド、イオン モール津田沼店、JR千葉駅前	地球温暖化防止対策及び夏季の電力ひっ迫対策の推 進に当たり、県民による節電行動を定着させること が重要であることから、キャンペーンの展開により 啓発を行う。	一般県民	5	1	平成23年度 未定	不明	851,550 352,800	無し	
環境生活部	67	浄化槽講習会	① 9/29②10/27③11/17 ④12/1 ⑤12/ 8	5日間	①一宮町②富津市③南房総市④旭 市⑤山武市	①一宮町公民館②富津市中央公民館③千 葉県立センター④いわいおまユートピアセン ター⑤山武市役所・本庁舎	浄化槽について、理解と認識を深めるとともに、合 併処理浄化槽の普及促進を図る。	一般県民	3	2	平成22年度 未定	118	159,240 159,240	無し	
環境生活部	68	船から見る親と子の東京湾潮祭会	8月6日、8月9日、8月16 日	3日間(6回)	東京湾(千葉港～三番瀬沖)	船発着場所：千葉港	私たちの暮らしと東京湾の水質について見て考える 機会の提供	小中学生とそ の保護者	3	1	平成24年度 平成25年度	585	461,100 461,100	無し	
環境生活部	69	第469回 NACS-J自然観察指導員講習会	11月16日～11月18日	3日間	柏市	手賀の丘少年自然の家	地域で自然観察会等を開催するボランティアである 自然観察指導員の養成	18歳以上の 一般男女	3	2	昭和57年度 未定	64	1,899,160 422,260	無し	
環境生活部	70	3R推進シンポジウム	10月29日	1日	千葉市	千葉市生涯学習センター	3Rの普及促進を図る。	一般県民	1	1	平成19年度 未定	75	154,925 154,925	無し	

平成24年度イベント一覧

※イベント形態は1会講・集会型 2展示型 3講座・学習型 4スポーツ・レクリエーション型 5その他

※イベント形式は1県主催 2共催 3実行委員会形式 4その他

※県費支出額の中には、財源が基金のものも含まれている

部局等	NO	イベント名	開催期間		開催場所		イベントの目的	参加対象者	イベント形態	開催形式	始期	参加者数(人)	事業費(円)		委託の有無
			開催期間	開催日数	開催場所	会場名							事業費(円)	県費支出額(円)	
環境生活部	71	多重債務相談窓口街頭啓発キャンペーン	10月12日	1日	千葉市	JR千葉駅前東口	多重債務問題の周知・啓発を図る	限定	5	1	平成20年度	不明	126,000	126,000	無し
環境生活部	72	悪質商法撲滅に向けた消費生活被害対策キャンペーン	12月5日～3月19日	約100日間	千葉市	船橋市 柏市 千葉駅、柏駅、海浜幕張駅、 ららぽーと	高齢者や若者を主な対象とし、地域や家族等による見守りによるキャンペーン	一般県民	5	1	平成24年度	3,000	34,515,385	34,515,385	有り
環境生活部	73	消費者フォーラムin千葉	5月24日	1日	千葉市	千葉市文化センター	・消費者月間関連事業 ・消費者被害・啓発の推進 ・消費者団体相互の交流及び連携を図る	一般県民、各関係団体及び市町村関係者	1	2	平成16年度	390	418,260	418,260	無し
環境生活部	74	消費生活教養・基礎講座	12月11日～2月14日	28日間	千葉市、館山市、茂原市、成田市	千葉商工会議所、たてやまタ 日海岸ホテルほか	地域の消費生活を担う中核的な人材の育成と消費生活相談業務を目指す人材の養成を図り、県の消費生活行政を推進する	一般県民	3	1	平成23年度	94	9,824,222	9,824,222	有り
環境生活部	75	消費生活の安定及び向上に向けた県民提案事業	10月30日～2月17日	約50日間	四街道市ほか	市民会館、文化センター等	消費者被害を防ぐため、地域の消費者活動を支援し、地域の実情に合わせた取組みを実施する	一般県民	1, 3	2	平成21年度	不明	4,544,239	4,544,239	有り
環境生活部	76	県下一斉合同パトロール	8月1日～2日	2日間	各市街頭		地域の補導活動・環境浄化活動に対する理解を深める等。	千葉県青少年補導員等	5	2	平成23年	1,511	1,224,000	231,000	無し
環境生活部	77	「私の思い」～中学生の主張～千葉県大会	9月29日	1日	千葉市	千葉県青少年女性会館	中学生が日常生活の中で考えていることをまとめ、広く発表する機会を提供することにより、広く中学生への理解と関心を深めてもらう。	限定なし	1	2	昭和54年度	290	1,110,260	650,000	無し
環境生活部	78	青少年育成千葉県県民会議推進大会	6月16日	1日	千葉市	千葉県青少年女性会館	青少年の育成を担う各関係機関・団体及び県民との連携をより一層強化し、青少年育成のさらなる発展を期する。	一般県民	1	2	平成13年度	160	110,451	100,000	無し
環境生活部	79	子ども・若者支援業務担当者育成講習会	1月8日	1日	千葉市	千葉県自治会館	ひきこもりを始め、ニート、不登校、就労など様々な困難を抱える子ども・若者の支援業務を実施している行政機関・学校関係の担当者の支援能力向上を図る	行政機関支援業務担当者・一般県民	1, 3	1	平成24年度	236	118,000	118,000	無し
環境生活部	80	千葉・県民芸術祭中央行事	3月2日	1日	千葉市	千葉県文化会館	県民の日ごろの文化創造活動の成果を発表する場と、県民に真の高い文化芸術の鑑賞機会を提供し、新たな「ちは文化」の創造を図る。	一般県民	2, 3	1, 3	平成24年度	1,079	2,000,000	2,000,000	有り

平成24年度イベント一覧

※イベント形態は1会講・集会型 2展示型 3講座・学習型 4スポーツ・レクリエーション型 5その他

※イベント形式は1県主催 2共催 3実行委員会形式 4その他

※県費支出額の中には、財源が基金のものも含まれている

部局等	NO	イベント名	開催期間		開催場所		イベントの目的	参加対象者	イベント形態	開催形式	始期	参加者数(人)	事業費(円)		委託の有無
			開催期間	開催日数	開催場所	会場名							事業費(円)	県費支出額(円)	
環境生活部	81	千葉・県民芸術祭千葉県美術展覧会	10月6日～10月28日	23日間	千葉市 県立美術館	千葉市の美術家の作品を広く紹介するとともに、県民の美意識を高め、郷土美術文化の振興と情操の純化に資する。	一般県民	2	2	2	昭和24年度 未定	22,550	17,685,306 1,110,000	有り	
環境生活部	82	千葉・県民芸術祭記念コンサート	9月23日	1日	松戸市 森のホール21	千葉・県民芸術祭の開催を記念するとともに、全国でも屈指のアマチュアオーケストラ数を擁する千葉県において、日ごろの活動成果を1人でも多くの県民に聞いてもらうための機会及び優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供する。	一般県民	4	2	2	平成24年度 未定	1,060	2,073,000 700,000	有り	
環境生活部	83	千葉・県民芸術祭千葉県音楽祭	11月23日	1日	野田市 野田市文化会館	ジャンルを超えた演奏団体間の相互交流と、県民への音楽的関心の高揚、音楽活動の普及・啓発を図る。	一般県民	4	2	2	昭和41年度 未定	800	810,876 500,000	有り	
環境生活部	84	シニア地域デビューフォーラムinさんむ	2月10日	1日	山武市 山武市成東文化会館のぎくづらザ	シニア世代のボランティア活動への理解を深め、ボランティア活動への参加意欲の向上を目指す。	一般県民	1、2	3	3	平成24年度 平成24年度	250	420,840 420,840	無し	
環境生活部	85	我孫子市民フェスタ2012	12月1日～2日	2日間	我孫子市 我孫子市生涯学習センター、手賀沼公園	県民に対し、NPO活動への理解及び参加促進を広く呼び掛けるとともに、NPO同士や関係者間の連携を深める。	一般県民	1、2、3、4	3	3	平成24年度 平成24年度	5,400	1,041,635 500,000	無し	
環境生活部	86	ボランティアインジボジウム	1月20日	1日	千葉市 千葉市ビジネス支援センター	専門知識やノウハウなど仕事のスキルや経験を活かした新しい形態のボランティア活動「プロボノ」について県民、関係者に周知する。	一般県民	1	1	1	平成23年度 平成24年度	100	512,560 512,560	無し	
環境生活部	87	県民の日記念 千葉の元気発信CM・ショームムービーコンテスト	6月23日	1日	千葉市 京葉銀行文化プラザ	ふるさと千葉の魅力や元気を広く県の内外に発信することを目的とする	限定なし	1	1	1	平成24年度 未定	200	7,736,119 7,736,119	有り	
環境生活部	88	県民の日千葉・市原地域行事「ちは・まちなかスターズin中央公園」「市原ちびっこ武道大会」	6月9日、6月17日	2日間	千葉市、市原市 千葉中央公園 特設ステージ 市原中央武道館	県民が千葉の魅力を再発見し、千葉アイデンティティを醸成するため「県民の日」を記念して文化や歴史、自然、産業等に触れ、体感する行事を県内各地で実施する。	限定なし(一部限定)	2、4	3	3	平成23年度 未定	合計 560 千葉市 95 市原市 465	958,785 958,725	無し	
環境生活部	89	スクエアード・ストリート教育技法による自転車交通安全教室	5月～11月	10日間	市原市ほか 県立鶴舞校が丘高等学校ほか	高校生や中学生の自転車事故の防止	高校生や中学生、教職員、行政関係者、保地域住民、保護者等	3	2	2	平成22年度 未定	7,468	2,950,500 2,950,500	有り	
環境生活部	90	参加・体験型高齢者交通安全リーダー研修	4月～2月	3日間	佐倉市、鴨川市、匝瑳市 佐倉自動車学校ほか	高齢者の交通事故防止	高齢者	3	2	2	平成13年度 未定	137	437,345 437,345	無し	

平成24年度イベント一覧

※イベント形態は1会講・集会型 2展示型 3講座・学習型 4スポーツ・レクリエーション型 5その他

※イベント形式は1県主催 2共催 3実行委員会形式 4その他

※県費支出額の中には、財源が基金のものも含まれている

部局等	NO	イベント名	開催期間		開催場所		イベントの目的	参加対象者	イベント形態	開催形式	始期	参加者数(人)	事業費(円)		委託の有無
			開催日数	開催日	会場名	事業費(円)							県費支出額(円)		
環境生活部	91	幼児交通安全教育セミナー	7月27日 1日	千葉市 千葉県教育会館	幼児交通安全教育の充実、幼児の関与する交通事故の防止	幼稚園教諭員、保護士、警察官、交通安全指導員、交通安全関係団体関係者	3	2	県、千葉県教育委員会、千葉県警察本部	平成8年度 未定	281	192,560 192,560	無し		
環境生活部	92	千葉県交通安全県民大会	11月9日 1日	千葉市 青葉の森公園芸術文化ホール	交通安全に関し功労のあった者を表彰し、交通事故撲滅の決意を新たにするとともに、交通安全に係る各種機関等が参加して交通安全について考え、事例発表等を通じて交通安全の重要性を県民に発信し、「交通安全県民は」の確立を目指す。	被表彰者 交通安全関係機関・団体	5	2	千葉県交通安全対策推進委員会、千葉県警、千葉県消防本部、千葉県消防団、千葉県交通安全関係団体関係者等	昭和37年度 未定	469	272,274 272,274	無し		
環境生活部	93	トップリーダー養成講座	8月8日、9月30日、 12月12日 3日間	真金市、香取市、茂原市 真金文化会館ほか	防犯活動に必要な専門的知識・技能の習得、高度な活動事例の研究を学ぶ機会を提供する養成講座を、県下各地域において開催し、防犯活動のレベルアップによる防犯リーダーや後継者の育成を図る。	一般県民	3	2	県、市町村	平成22年度 平成25年度	320	608,838 608,838	無し		
環境生活部	94	防犯ボランティア交流大会	11月13日 1日	千葉市 千葉県教育会館	先進的な自主防犯団体のリーダーやヤング防犯ボランティアが一堂に会し、活動事例発表や意見交換、講演(講習)を受講することにより、県内の自主防犯団体の活性化と活動のレベルアップを図る。	防犯ボランティア	3	2	県、千葉市	平成23年度 未定	400	365,667 365,667	無し		
環境生活部	95	ヤング防犯ボランティア交流会	1月20日 1日	千葉市 千葉県教育会館	県内に散在して活動する学生バトロール団体が、他の団体と交流を深め、情報交換や合同の活動等が行われるようになることを目指し、県主催の情報交換会を開催する。	学生・生徒	3	1		平成23年度 未定	42	132,120 132,120	無し		
環境生活部	96	犯罪被害者支援員養成講座	入門編 7月22日～9月5日 初級編 9月12日～10月24日 入門編 3日間 初級編 6日間	入門編 千葉市ほか 初級編 千葉市 入門編 木更津市中央公民館 他 初級編 ユニセル	犯罪被害者支援に関する知識・技能を有する人材を養成するため、入門編(公開講座)を県内3か所で各1日、そして、初級編を6日間にわたる連続講座として開設する。	一般県民	3	1		平成23年度 未定	入門編 83 初級編 35	677,000 677,000	有り		
環境生活部	97	犯罪被害者週間「千葉県民のつどい」	11月18日 1日	柏市 柏市民文化会館	被害者を社会全体で支援していくための県民意識の醸成を図るため、犯罪被害者週間(11月25日～12月1日)にあわせて広報啓発キャンペーンを実施する。	一般県民	3	2	県と(社)千葉犯罪被害者支援センター共催	平成21年度 未定	171	807,000 807,000	有り		
環境生活部	98	環境研究センター公開講座	5月～3月 10日間	市原市ほか 環境研究センター市原地区ほか	研究成果の積極的な還元、県民・民間団体等との連携による「環境パートナーシップ体制の確立」を活動の重要な柱とし、啓発事業に取り組み。	一般県民	3	1		平成13年 未定	387	752,647 752,647	無し		
環境生活部	99	県民環境講座	10月～2月 4日間	千葉市ほか 花見川第三小学校ほか	環境学習の一環として行う県民向けの講座	一般県民	3	1		平成24年 未定	236	1,416,980 1,416,980	有り		
環境生活部	100	消費生活サポーター養成講座	10月29日、10月31日 11月21日、11月22日 4日間	千葉市、船橋市 きぼーる、消費者センター	地域の中で消費生活のサポート役として活動できる人材を育成するため、消費被害の防止等に役立つ知識を身につける	一般県民	3	1		平成19年度 未定	105	451,676 451,676	無し		

平成24年度イベント一覧

※イベント形態は1会講・集会型 2展示型 3講座・学習型 4スポーツ・レクリエーション型 5その他

※イベント形式は1県主催 2共催 3実行委員会形式 4その他

※県費支出額の中には、財源が基金のものも含まれている

部局等	NO	イベント名	開催期間		開催場所		イベントの目的	参加対象者	イベント形態	開催形式	始期		事業費 (円)	委託の有無
			開催期間	開催日数	開催場所	会場名					参加者数(人)	終期		
商工労働部	101	経営革新企業交流会	11月19日	1日	千葉市	ブラザ菜の花	経営革新承認企業及び支援機関が一堂に集まる機会を設定し、啓発を行うとともに、相互交流を図ることにより新たな事業展開の機会を提供する。	中小企業の経営者等、中小企業支援機関職員	1	1、2	平成19年度 未定	239,820 239,820	無し	
商工労働部	102	経営革新&BCPセミナー	8月9日、10月30日	2日間	千葉市、柏市	千葉商工会議所、柏商工会議所	県内中小企業における経営革新・BCPの取組を推進する	中小企業	3	4	平成22年度 未定	406,977 406,977	無し	
商工労働部	103	創業セミナー	11月17日	1日	市川市	I-Linkルーム	創業を目指す方に創業についての知識等を提供し、創業を支援する	一般県民	3	4	平成22年度 未定	158,900 158,900	無し	
商工労働部	104	ちば戦略的デザイン活用塾・デザインセミナー	通年	9日間	千葉市、鎌山市、墨田区	きぼ一館、千葉商工会議所、安房台同庁舎、墨田区内町工場	県内の中小企業等事業者に対し、実際の業務に役立つノウハウを学ぶセミナーを実施することにより、デザイナー導入の促進を図ること	県内の中小企業等事業者	1、3	1	平成23年度 平成25年度	1,275,000 915,000	無し	
商工労働部	105	"あなただ"に贈る18の新・千葉みやげ展示会	10月26日～11月4日	10日間	千葉市	そごう千葉店	千葉工業大学の学生が開発した土産物パッケージを百貨店にて展示・販売することにより、土産のみやげものの魅力を広く県民に周知させる	一般県民	2	2	平成24年度 未定	172,011 172,011	無し	
商工労働部	106	中小企業等技術力高度化支援研修	9月12日～13日 2月7日～8日、2月21日	5日間	千葉市	産業支援技術研究所(加曽利庁舎及び天台庁舎)	中小企業等の技術者のレベルアップを図る。	中小企業等の技術者	3	1	平成19年度 未定	863,455 863,455	無し	
商工労働部	107	「ベンチャークラブちば」ビジネスプラン発表会	8月、11月、3月	計3日間(各1日)	千葉市、柏市	ホテルグリーンタワー幕張、真葛テクノプラザ	ベンチャー企業の事業化や株式公開等を支援するため、ベンチャーキャピタルや証券会社、金融機関、ビジネスパートナーとのマッチングの場としてビジネスプラン発表会を開催する	限定なし	1	4	平成14年度 未定	922,365 461,182	無し	
商工労働部	108	千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議 総会・研究成果・事例報告会	5月31日	1日	千葉市	ホテルポートプラザちば	県内企業や研究機関等産学官の連携交流により、共同研究開発、事業化支援等、県内バイオ産業の振興を図る。	会議会員 企業 研究機関 大学	1	2	平成14年度 未定	124,003 124,003	無し	
商工労働部	109	千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議 シーズ発表会	9月11日	1日	木更津市	かずさアカデミアホール	県内企業や研究機関等産学官の連携交流により、共同研究開発、事業化支援等、県内バイオ産業の振興を図る。	会議会員 企業 研究機関 大学	1	2	平成14年度 未定	119,270 119,270	無し	
商工労働部	110	千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議 シーズ発表会	3月1日	1日	千葉市	アパホテル&リゾート東京ベイ	県内企業や研究機関等産学官の連携交流により、共同研究開発、事業化支援等、県内バイオ産業の振興を図る。	会議会員 企業 研究機関 大学	1	2	平成14年度 未定	487,850 487,850	無し	

平成24年度イベント一覧

※イベント形態は1会議・集会型 2展示型 3講座・学習型 4スポーツ・レクリエーション型 5その他

※イベント形式は1県主催 2共催 3実行委員会形式 4その他

※県費支出額の中には、財源が基金のものも含まれている

部局等	NO	イベント名	開催期間		開催場所		イベントの目的	参加対象者	イベント形態	開催形式	始期	参加者数(人)	事業費(円)		委託の有無
			開催日数	開催日	会場名	事業費(円)							県費支出額(円)		
商工労働部	111	企業誘致セミナー	10月10日、31日	2日間	東京都千代田区、大阪府大阪市	企業誘致	企業(製造業など)	1	2	不明	304	4,000,000	560,000	有り	
商工労働部	112	千葉県指定伝統的工芸品展	2月27日～3月4日	6日間	千葉県千葉市	県指定の優れた伝統的工芸品を広く県民に紹介し、その普及宣伝・販路拡大を図る	限定なし	2	2	昭和58年度	36,200	5,197,000	2,197,000	有り	
商工労働部	113	千葉県観光物産大会	11月1日	1日	匝瑳市	観光立県ちばの推進	限定なし	1	2	昭和42年度	450	900,108	255,000	無し	
商工労働部	114	中房総グルメサイクリング	3月16日	1日	市原市、長柄町、睦沢町、長南町他	中房総エリアに多くの観光客を呼び込むため、広域連携を図り観光振興に取り組む。	限定なし	4	4	平成24年度	312	3,292,000	1,500,000	無し	
商工労働部	115	平成24年度千葉県観光リーダー養成講座	10月～2月	9日間	千葉県市川市、松戸市、君津市、埼玉県川越市	業種を問わず、観光まちづくりをコーディネート・プロデュースし、地域観光の担い手となる「観光リーダー」を育成する。	限定なし	3	1	平成21年度	95	2,976,750	2,976,750	有り	
商工労働部	116	平成24年度千葉県観光ボランティアガイド養成講座	1月～2月	7日間	千葉県市川市、松戸市、野田市、勝浦市、浦安市、南房総市ほか	訪れる人々に「ちばの魅力」をより効果的に伝えるため、ガイドサービスの向上などを図る。	限定なし	3	1	平成15年度	172	1,999,998	1,999,998	有り	
商工労働部	117	旅フェア日本2012	11月9日～11日	3日間	東京都豊島区	全国規模の観光展に参加し、本県観光をPR	限定なし	2	4	平成7年度	93,099	4,499,650	4,499,650	有り	
商工労働部	118	圏央道開通PRイベント開催業務	3月3日	1日	埼玉県東松山市	圏央道の開通を広く周知するとともに、本県観光のPRをし、誘客促進を図る。	限定なし	2	1	平成24年度	4,905	2,330,000	2,330,000	有り	
商工労働部	119	平成24年度ちばプロモーション協議会	年間	365日	首都圏 宮城県仙台市ほか	多様な主体が協働して、本県の有する多様な魅力を全国に向けて広報宣伝し、本県観光のイメージの向上を図るとともに、より多くの観光客の誘致を実現していくことにより、本県観光産業の振興と各地域の活性化に寄与する。	限定なし	1、2、3	4	平成19年度	不明	29,699,715	24,000,000	有り	
商工労働部	120	千葉県韓国プロモーション事業	6月5日～6月9日	5日間	韓国ソウル特別視察	韓国において本県の観光PRを実施する	韓国の旅行者・メディアー・一般消費者	2	1	平成16年度	不明	2,961,900	2,961,900	有り	

平成24年度イベント一覧

※イベント形態は1会講・集会型 2展示型 3講座・学習型 4スポーツ・レクリエーション型 5その他

※イベント形式は1県主催 2共催 3実行委員会形式 4その他

※県費支出額の中には、財源が基金のものも含まれている

部局等	NO	イベント名	開催期間		開催場所		イベントの目的	参加対象者	イベント形態	開催形式	始期 終期	参加者数(人)	事業費 (円)		委託の有無
			開催期間	開催日数	開催場所	会場名							事業費 (円)	県費支出額 (円)	
商工労働部	121	東南アジアにおける知事トップセールス事業	8月17日～8月22日 6日間		タイ王国バンコク都 バンコク都内国際旅行博会場等		タイ王国の旅行者・メディア・一般消費者	2	1	平成24年度 未定	不明	5,660,755 5,660,755	5,660,755	有り	
商工労働部	122	台湾大学生モニターツアー事業	8月及び11月 20日間		千葉県内 千葉県内観光地等		千葉県を広く海外にPRし、外国人観光客の誘致促進を図るため、台湾の大学生を対象としたモニターツアーを実施する。	2	1	平成24年度 未定	21	12,106,500 12,106,500	12,106,500	有り	
商工労働部	123	香港メディア招聘事業	7月2日～6日 5日間		千葉県内 千葉県内観光地等		香港において本県の観光PRを実施する	2	1	平成24年度 未定	21	1,126,899 1,126,899	1,126,899	有り	
商工労働部	124	台湾観光ミッション派遣事業	11月5日～11月9日 5日間		台湾台北市及び高雄市 台北市及び高雄市内ホテル及び旅行業者事務所等		台湾において本県の観光PRを実施する	5	1	平成24年度 未定	10	2,245,000 2,245,000	2,245,000	有り	
商工労働部	125	外国人による千葉県体験モニターツアー・情報発信事業(シンガポール)	10月12日～16日 5日間		千葉県内 千葉県内観光地等		シンガポールにおいて本県の観光PRを実施する	5	1	平成24年度 未定	13	3,734,325 3,734,325	3,734,325	有り	
商工労働部	126	訪日台湾教育旅行関係者招聘事業	9月29日～10月3日 6日間		千葉県内 千葉県内高校及び観光地等		台湾から教育旅行を誘致するため本県のPRを実施	5	1	平成24年度 未定	8	601,672 601,672	601,672	有り	
商工労働部	127	東アジアからの千葉県体験モニターツアー事業	10月20日～24日 5日間		千葉県内 アクアラインマリン会場等		台湾及びタイにおいて本県観光のPRを実施	5	1	平成24年度 平成24年度	5	3,000,000 3,000,000	3,000,000	有り	
商工労働部	128	台湾うつぶせ少女招聘事業	10月30日～11月3日 5日間		千葉県内 千葉県内観光地		台湾において本県の観光PRを実施する	5	1	平成24年度 未定	4	491,250 491,250	491,250	有り	
商工労働部	129	成田空港国内線を活用した外客広域観光ルート事業	11月8日～11日 4日間		千葉県内 千葉県内観光地		フランスにおいて本県の観光PRを実施する	5	1	平成24年度 未定	4	1,680,282 1,680,282	1,680,282	有り	
商工労働部	130	VISIT JAPANトラベルマート2012	11月20日～21日 2日間		神奈川県横浜 パシフィコ横浜		インバウンドの商談会に参加し、本県への外国人観光客の誘致を図る	5	4	不明 未定	不明	476,059 476,059	476,059	有り	

平成24年度イベント一覧

※イベント形態は1会議・集会型 2展示型 3講座・学習型 4スポーツ・レクリエーション型 5その他

※イベント形式は1県主催 2共催 3実行委員会形式 4その他

※県費支出額の中には、財源が基金のものも含まれている

部局等	NO	イベント名	開催期間		開催場所		イベントの目的	参加対象者	イベント形態	開催形式	始期		参加者数(人)	事業費(円)		委託の有無
			開催期間	開催日数	開催場所	会場名					始期	終期		事業費(円)	県費支出額(円)	
商工労働部	131	ビジットジャパン地方連携事業「米国メディア招請事業」	千葉県内	千葉県内観光地	11月3日～8日 6日間	千葉県内	東京都、埼玉県と連携して、米国からメディアを招請し、観光PRを実施する	米国メディア	5	4	平成19年度 未定	5	793,018 793,018	793,018 793,018	有り	
商工労働部	132	外国人による千葉県体験モニターツアー・情報発信事業(タイ王国)	千葉県内	千葉県内観光地	3月12日～16日 5日間	千葉県内	タイ王国からメディアを招請し、本県の観光PRを実施する	タイ王国メディア	5	1	平成24年度 未定	32	7,474,935 7,474,935	7,474,935 7,474,935	有り	
商工労働部	133	ビジットジャパン地方連携事業「東京近郊小さな旅プロモーション事業」	千葉県内	千葉県内観光地	12月5日～19日 4日間	千葉県内	台湾、香港、タイからのメディアを招請し、本県の観光PRを実施する	メディア	2	4	不明 未定	8	450,000 450,000	450,000 450,000	有り	
商工労働部	134	タイ国際旅行博出展事業	タイ王国バンコク都	バンコク都内	2月14日～17日 4日間	タイ王国バンコク都	タイ王国において本県の観光PRを実施する	タイ王国一般消費者	2	1	平成24年度 未定	12	925,300 925,300	925,300 925,300	有り	
商工労働部	135	韓国人プログラマー招請事業	千葉県内	千葉県内観光地等	2月25日～27日 3日間	千葉県内	韓国において本県観光のPRを実施する	韓国人プログラマー	5	1	平成24年度 未定	10	672,730 672,730	672,730 672,730	有り	
商工労働部	136	タイ王国における千葉県観光物産紹介事業	タイ王国バンコク都	バンコク都内ホテル及び旅行者事務所等	3月4日～8日 5日間	タイ王国バンコク都	タイ王国にて本県の物産の紹介	海外旅行者 県内観光事業者等	2	1	平成24年度 未定	12	299,987 299,987	299,987 299,987	有り	
商工労働部	137	タイ王国観光ミッショントム派遣事業	タイ王国バンコク都	バンコク都内ホテル及び旅行者事務所等	3月4日～8日 5日間	タイ王国バンコク都	タイ王国にて本県の観光PR	海外旅行者 県内観光事業者等	2	1	平成24年度 未定	12	2,598,500 2,598,500	2,598,500 2,598,500	有り	
商工労働部	138	平成24年度羽田空港6県市観光情報センター運営協議会	羽田空港	羽田空港観光情報センター	年間	羽田空港	羽田空港国際線利用者に対し、本県の観光PRを行う。	羽田空港国際線利用者	1、2	3	平成22年度 未定	不明	600,000 600,000	600,000 600,000	無し	
商工労働部	139	平成24年度成田空港周辺地域域国際観光推進協議会	千葉県内、横浜市内	千葉県内各地、パシフィコ横浜	年間	千葉県内、横浜市内	成田空港周辺の観光PRを実施	限定なし	1、2、3	3	平成18年度 未定	不明	1,240,000 1,240,000	1,240,000 1,240,000	無し	
商工労働部	140	平成24年度千葉県国際観光推進協議会	千葉県内	千葉県内各地	年間	千葉県内	県内市町、観光事業者と連携して本県の観光PRを実施	限定なし	1、2、3	3	平成18年度 未定	不明	2,700,000 2,700,000	2,700,000 2,700,000	無し	

平成24年度イベント一覧

※イベント形態は1会講・集会型 2展示型 3講座・学習型 4スポーツ・レクリエーション型 5その他

※イベント形式は1県主催 2共催 3実行委員会形式 4その他

※県費支出額の中には、財源が基金のものも含まれている

部局等	NO	イベント名	開催期間		開催場所		イベントの目的	参加対象者	イベント形態	開催形式	始期 終期	参加者数(人)	事業費 (円)		委託の有無
			開催期間	開催日数	開催場所	会場名							事業費	県費支出額	
商工労働部	141	平成24年度 訪日教育旅行促進協議会	年間		千葉県内		県内市町、観光事業者と連携して本県への海外からの教育旅行を誘致する	県内学校 海外からの教 育旅行実施校	1, 2, 3	3	平成18年度 未定	不明	900,000 900,000	無し	
商工労働部	142	千葉県労働大学講座	10月19日～11月12日	8日間	千葉市 千葉県教育会館		労働関係法の基礎知識や労働問題の専門的な知識の習得により、民主的な労使関係の安定を図る。	県内の経営 者・管理者・ 労働者他 一般県民	3	1	昭和54年度 未定	201	544,270 544,270	無し	
商工労働部	143	未来の名エチャレンジ	6月9日～10月27日	5日間	船橋市 船橋高等技術専門学校		ものづくり経験の無い若年層の方々を対象に、様々なものづくり体験を通して、その楽しさや素晴らしいさを体感することにより、ものづくりに対するイメージを深め、将来の職業選択のきっかけ作りを図る。	小学生 中学生 高校生 大学生 求職者	3	1	平成22年度 未定	96	141,357 141,357	無し	
商工労働部	144	未来の名エチャレンジ	6月9日～10月27日	4日間	東金市 東金高等技術専門学校		・若年者の職業教育の一環 ・入校促進のPR	小学生・中学 生・高校生	3	1	平成22年度 未定	44	420,000 420,000	無し	
商工労働部	145	未来の名エチャレンジ	6月16日～1月27日	11日間	千葉市 障害者高等技術専門学校		障害者高等技術専門校のPRを行い、体験入校を通して本校の認識と理解を深め入校の促進につなげる	本校入校希望 の障害者	3	1	平成22年度 未定	105	166,508 166,508	無し	
農林水産部	146	地域農林水産展(実りのフェスティバル)	11月10日～11日	2日間	東京都千代田区 日比谷公園		農林水産業と食に対する国民一般の理解の増進と農林水産物の消費拡大等に資するため。	限定なし	2	4	昭和37年度 未定	64,000	500,000 500,000	有り	
農林水産部	147	千葉なし味自慢コンテスト	9月8日～9日	2日間	習志野市 イオン津田沼店		本県産梨の品質向上と消費拡大	限定なし	2	3	昭和45年度 未定	不明	530,000 160,608	有り	
農林水産部	148	千葉県樹木共進会 (千葉県樹木祭り)	10月23日～29日	7日間	匝瑳市 八日市場樹木センター		千葉県樹木の品質向上とPR、販路拡大を図る	一般県民	2	2	昭和47年度 未定	1,000	400,000 200,000	有り	
農林水産部	149	フラワーフェスティバル	1月10日～14日	5日間	千葉市 三越伊勢丹千葉店		千葉県花きの品質向上と消費拡大を図る	限定なし	2	3	昭和55年度 未定	39,600	1,990,000 800,000	有り	
農林水産部	150	関東東海花の展覧会	1月30日～2月3日	5日間	東京都豊島区 サンシャインシティ文化会館		花の品質向上と消費拡大を図る	限定なし	2	3	昭和27年度 未定	32,000	23,900,000 1,100,000	無し	

平成24年度イベント一覧

※イベント形態は1会講・集会型 2展示型 3講座・学習型 4スポーツ・レクリエーション型 5その他

※イベント形式は1県主催 2共催 3実行委員会形式 4その他

※県費支出額の中には、財源が基金のものも含まれている

部局等	NO	イベント名	開催期間		開催場所		イベントの目的	参加対象者	イベント形態	開催形式	始期 終期	参加者数(人)	事業費 (円)		委託の有無
			開催期間	開催日数	開催場所	会場名							事業費 (円)	県費支出額 (円)	
農林水産部	151	千葉のカレーフェア	7月14日～8月31日	49日間	県内全域	75店舗	県内各地の飲食店が、メインの具材に県産の農林水産物を使用したカレーを提供する「千葉のカレーフェア」を開催することによって、千葉県産農林水産物の活用を促進し、魅力を発信する。	限定なし	2	一般社団法人千葉県農工商業振興委員会、千葉県農工商業振興会等	平成23年度 未定	不明	445,830 445,830	有り	
農林水産部	152	いまが旬！「食の宝庫ちばから農林水産物の魅力発信」イベント	9月22日	1日	木更津市	三井アウトレットパーク木更津	首都圏の消費者に、千葉の農林水産物を紹介するため、旬の農林水産物のPR及び即売を行う。併せて観光や、ちばアライアンのPRを行う。	限定なし	2		平成24年度 未定	878	666,435 666,435	有り	
農林水産部	153	ちばアライアンの農林水産物イベント	10月21日	1日	木更津市	ちばアライアンのPR	全国の方々が千葉県に訪れる「ちばアライアンのPR」の関係を活用し、千葉県産農林水産物の魅力を発信する。	限定なし	4		平成24年度 未定	13,946	1,066,136 1,066,136	有り	
農林水産部	154	千葉のさつまいもスイーツフェア	11月1日～30日	30日間	県内全域（一部県外）	131店舗	「さつまいも」を使用したスイーツを提供するフェアを開催することにより、県産農産物の食料としての活用を促進すると共に、知名度の向上を図る。	限定なし	2	一般社団法人千葉県農工商業振興委員会、千葉県農工商業振興会等	平成24年度 未定	不明	609,000 609,000	有り	
農林水産部	155	第23回千葉県協同組合フェスティバル	11月4日	1日	千葉市	稲毛海浜公園	県内の生協、酒協、森林組合及び農協で組織される千葉県協同組合推進協議会が県民向けのPRを行う場に出展し、各団体と連携し、県産農林水産物のPRを行う。	限定なし	2	千葉県は後援団体	昭和63年度 未定	約20,000	153,300 153,300	有り	
農林水産部	156	千葉の米粉スイーツフェア	3月1日～31日	31日間	県内全域（一部県外）	67店舗	県内を中心とした飲食店や菓子店等において、千葉県産米を使った米粉を使用したスイーツを提供するフェアを開催することにより、県産米の活用を促進すると共に、知名度の向上を図る。	限定なし	2	共催：ちばコマメ物食品普及会、千葉県米消費拡大推進協議会	平成23年度 未定	不明	339,150 339,150	有り	
農林水産部	157	農業安全使用研修会	6月29日～7月18日	5日間	神崎町、長生村、旭市、館山市、柏市	神崎町ふれあいプラザ 長生村文化会館ほか	農業適正使用の推進	農業使用者 販売者 関係機関 指導者	3		不明	1,052	367,675 184,675	無し	
農林水産部	158	農業分野におけるリスク管理研修会	3月4日	1日	千葉市	千葉商工会議所	直売所等における農産物の安全・安心を守るための点検ポイントについて学び、生産工程管理の重要性を理解する	生産者 農協 関係機関	3	JA全農ちば、千葉県農協中水委と共催	平成22年度 未定	96	311,112 311,112	無し	
農林水産部	159	千葉県有機農業者技術交流・研修会	12月18日	1日	千葉市	千葉県自治会館	有機農業者の実践技術に関する講演・情報交換を通じ、県内有機農業者の技術向上や交流促進を図る	有機農業取組者等一般県民	1		平成20年度 未定	144	172,470 172,470	無し	
農林水産部	160	「ちば」の干産干消と旬を巡る食育体験プログラム事業	2月9日	1日	八千代市	千葉北部酪農農業組合ほか	農業体験を中心とした食育体験バスツアーを開催し、食を生み出す場としての農業の理解を深める。	県内在住の親子（小学生以上）	3, 4		平成24年度 平成28年度	24	144,500 144,500	有り	

平成24年度イベント一覧

※イベント形態は1会講・集会型 2展示型 3講座・学習型 4スポーツ・レクリエーション型 5その他

※イベント形式は1県主催 2共催 3実行委員会形式 4その他

※県費支出額の中には、財源が基金のものも含まれている

部局等	NO	イベント名	開催期間		開催場所		イベントの目的	参加対象者	イベント形態	開催形式	始期	参加者数(人)	事業費(円)		委託の有無
			開催期間	開催日数	開催場所	会場名							事業費(円)	県費支出額(円)	
農林水産部	161	平成24年度 海匠地域農林水産物直売所研修会	旭市	9月25日 1日	旭市 いいおかユートピアセンター	地域のグリーン・ブルーツーリズムの推進を図る。	直売所及び朝市関係者、農林水産、商工観光関係団体等	3	2	平成22年度 未定	50	115,223 110,000	無し		
農林水産部	162	長生食育フェスタ2013	茂原市	3月8日 1日	茂原市 東部台文化会館	長生地域の県民に対して食育の啓発・普及を図る	一般県民	1, 2	1	平成18年度 平成24年度	70	315,000 127,060	無し		
農林水産部	163	農業経営体育成セミナー	大多喜町、いすみ市ほか	6月11日～2月28日 24日間	大多喜町、いすみ市ほか 美晴合同庁舎、先進農家ほか	新規に就農した、学習意欲を有する青年農業者を、段階的に3年間継続的に研修し、経営者としての資力・能力の向上を図り就業定着を促進し地域農業の担い手を育成に資するため開催する。	新規に就業した者でおおむね35歳までの青年農業者	3	1	不明 未定	10	224,880 224,880	無し		
農林水産部	164	ちば新農人サポート事業 食用ナバナチャレンジセミナー	館山市、南房総市 安房農業事務所、 南房総市和田町ナバナ栽培ほ場	8月1日、9月5日 11月21日、1月30日 4日間	館山市、南房総市 安房農業事務所、 南房総市和田町ナバナ栽培ほ場	食用ナバナ栽培の基礎知識の習得をする。	食用ナバナチャレンジセミナー受講申込者	3	1	平成23年度 未定	25	110,000 110,000	無し		
農林水産部	165	君津地域いきいき交流会2013	木更津市	2月14日 1日	木更津市 かずさアカデミアホール	地域の農業関係者等が仲間とともに活動事例を学び、農業活性化と食育の輪を広げる万策を考える	一般県民、農業者、農業団体、君津管内4市	1, 2	2	平成23年度 未定	334	547,302 285,838	無し		
農林水産部	166	千葉農林総合研究センター公開デー	千葉市	10月27日 1日	千葉市 農林総合研究センター本場	農林総合研究センターで行っている最先端の研究紹介、小学生から大人まで楽しめる実験や講座、収穫体験を通じ、農林業の魅力や当センターの役割を伝える	一般県民	2, 3	1	平成20年度 未定	2,500	368,138 148,138	有り		
県土整備部	167	第10回印旛沼流域環境・体験フェア	佐倉市	10月20日～21日 2日間	佐倉市 佐倉ふるさと広場向かい	印旛沼水循環健全化の取組を周知・啓発し、一般県民が印旛沼の水環境再生に向けて行動する契機とする。	一般県民	2, 3, 4	2	平成16年度 未定	3,000	8,804,000 502,000	有り		
県土整備部	168	被災宅地危険度判定士養成講習会	旭市②市川市③君津市④千葉市 ①いよいよセンター②アコーストホール ③印旛沼水循環学習交流センター④千葉銀行	①8月3日②10月29日 ③12月17日④2月26日 4日間	旭市②市川市③君津市④千葉市 ①いよいよセンター②アコーストホール ③印旛沼水循環学習交流センター④千葉銀行	大規模な地震や大雨などで宅地が大規模かつ広範囲に被災した際、地盤の調査などによる二次災害を防止するため、被害状況を早期的確に把握して被災宅地の危険度の判定を行う被災宅地危険度判定士を養成するため。	行政職員及び一般県民	3	1	平成16年度 未定	①25②57 ③30④137	167,632 167,632	無し		
県土整備部	169	景観セミナー/フォーラム	千葉市②鎌子市③千葉市④木更津市⑤千葉市⑥大網白里市	①8月28日②9月19日③9月30日④9月18日⑤9月23日⑥9月24日 11日	千葉市②鎌子市③千葉市④木更津市⑤千葉市⑥大網白里市 ①千葉県庁舎前②4階演習室③鎌子市役所2階セミナー室④かまやまのびのびの館2階会議室ほか	景観の知識、情報を提供し、景観形成の意識の普及・啓発を図る。	行政職員及び一般県民	1, 2	1, 2	平成17年度 未定	①123②81 ③68④81 ⑤95⑥80	652,380 652,380	無し		
県土整備部	170	屋外広告物美化キャンペーン	千葉市 J R海浜幕張駅 南口広場	9月22日 1日	千葉市 J R海浜幕張駅 南口広場	屋外広告物に関する普及・啓発等	一般県民	2	3	平成13年度 未定	不明	1,100,000 220,000	無し		

平成24年度イベント一覧

※イベント形態は1会講・集会型 2展示型 3講座・学習型 4スポーツ・レクリエーション型 5その他

※イベント形式は1県主催 2共催 3実行委員会形式 4その他

※県費支出額の中には、財源が基金のものも含まれている

部局等	NO	イベント名	開催期間		開催場所		イベントの目的	参加対象者	イベント形態	開催形式	始期 終期	参加者数(人)	事業費 (円)		委託の有無
			開催期間	開催日数	開催場所	会場名							事業費 (円)	県費支出額 (円)	
県土整備部	171	住宅リフォーム相談会	10月13日～11月3日	4日間	千葉市、白井市、東金市、長柄町	幕張ハウジングパークほか	県民が安心して住宅リフォームを行うことができる環境を整備する。	一般県民	2、3	2	平成24年度 未定	15	788,550 394,275	有り	
県土整備部	172	住宅リフォーム事業者等向け講習会	3月5日	1日	千葉市	千葉県教育会館	県民が安心して住宅リフォームを行うことができる環境を整備する。	住宅リフォーム関係事業者等	1	2	平成24年度 未定	104	399,000 199,500	有り	
県土整備部	173	千葉港まつり	7月1日～9月30日	92日間	千葉市	千葉ポートタワー外	県民に親しまれる千葉港づくりを目指しPR活動を行う。	一般県民	5	3	昭和28年度 未定	725	1,905,958 800,000	無し	
県土整備部	174	アクア大漁旗応援隊アクアシティPR	10月21日	1日	木更津市		ちばアクアラインマラソン時において、金田西土地画整理事業地をPRし、県有地・保有地の販売促進を図る	限定なし	2	1	平成24年度 未定	不明	167,300 167,300	無し	
水道局	175	水道週間ポスター・標語コンクール	平成24年8月1日～	10か月間	千葉市	ホテルプラザ菜の花、そごう千葉店	水道週間はお客様に水道事業へのご理解を深めていただくことを目的とする。	県内に在住または県内の学校に通学している方	5	1	昭和34年度 未定	不明	1,016,673 1,016,673	有り	
水道局	176	水道出前講座	通年	38日間	千葉県 千葉県給水区域内の千葉市、船橋市、市川市外6市小学校、公民館等お客様の指定する場所		お客様に「水道水の安全性、おいしさを体験していただく」とともに「おいしい水づくりの取組みを紹介する」	県営水道給水区域内の小学校4年生と一般利用者等	3	1	平成19年度 未定	約2,800	5,306,490 5,306,490	有り	
水道局	177	桜の季節における千葉高架水槽及び栗山配水塔見学会	3月25日	1日	千葉市、松戸市	千葉分場、栗山浄水場	「土木学会選奨土木遺産」に認定された栗山配水塔及び千葉高架水槽を広く県民の皆様に見学していただくことを目的とする。	一般県民	2	1、2	平成18年度 未定	530	1,083,180 1,083,180	有り	
水道局	178	浄水場見学会	6月2日	1日	千葉市、印西市、市原市	柏井浄水場、幕張給水場ほか	水道利用者への水道に対する意識の高揚を図る広報活動の一環として開催する。	県営水道を利用している方	3	1	不明 未定	113	300,000 300,000	無し	
水道局	179	夏休み親子浄水場見学会	7月28日	1日	千葉市、松戸市	柏井浄水場、印旛取水場ほか	水道利用者への水道に対する意識の高揚を図る広報活動の一環として開催する。	県営水道を利用している小学生を含む家族	3	1	不明 未定	65	200,000 200,000	無し	
水道局	180	浄水場見学会業務	4月26日～	233日間	千葉市、松戸市	柏井浄水場、ちば野菊の里浄水場	当局が安全でおいしい水づくりに取り組んでいる状況を広く県民に理解してもらおうことを目的とする。	小学生及び一般社会人(原則として団体)	3	1	平成21年度 未定	約19,500	5,166,000 5,166,000	有り	

平成24年度イベント一覧

※イベント形態は1会講・集会型 2展示型 3講座・学習型 4スポーツ・レクリエーション型 5その他

※イベント形式は1県主催 2共催 3実行委員会形式 4その他

※県費支出額の中には、財源が基金のものも含まれている

部局等	NO	イベント名	開催期間		開催場所		イベントの目的	参加対象者	イベント形態	開催形式	始期	参加者数(人)	事業費(円)		委託の有無
			開催期間	開催日数	会場名	事業費(円)							県費支出額(円)		
水道局	181	水道街頭PR	6月1日～8月1日	5日間	印西市他 千葉ニュータウン中央駅前通 踏池4ヶ所	県営水道への理解と関心を深めるため	一般県民	2	1	不明	2,085	373,800	373,800	無し	
水道局	182	水道街頭PR	6月23日、10月6日、 11月3日	3日間	浦安市、松戸市、市川市 新浦安駅前広場ほか	県営水道への理解や関心を深めるため	一般県民	2	1	不明	1,420	223,657	223,657	無し	
企業庁	183	日の出橋開通式	9月15日	1日	浦安市日の出6丁目地先 日の出橋	日の出橋の開通を祝し、併せて開通の周知を図る。	限定なし	5	2	平成24年度 平成24年度	不明	554,400	554,400	有り	
病院局	184	千葉県立病院就職説明会	4月22日	1日	千葉市 幕張メッセ	県立病院の看護師を確保するため	看護学生及び 看護職	1、2	1	平成21年度	136	1,217,160	1,217,160	有り	
病院局	185	県民公開セミナー	10月21日	1日	千葉市 京葉銀行文化プラザ	専門医師によるがんの講演をとおして、県民と医療者のコミュニケーションを深め、がんに対する知識を普及する	一般県民	1	1	平成14年度	251	749,950	749,950	無し	
病院局	186	臨床研究総合センターシンポジウム	12月15日	1日	千葉市 千葉県がんセンター	臨床研究・治療の推進とがんの個別化医療の基礎構築	臨床研究に携 わる研究者お よび一般県民	1	3	平成23年度	125	735,926	300,000	無し	
病院局	187	心と体総合相談支援センターシンポジウム	1月27日	1日	千葉市 千葉県がんセンター	がん患者が住みなれた地域で療養するための在宅療養と地域連携を図っていくモデルを紹介する	一般県民	1	3	平成23年度	102	300,000	300,000	無し	
病院局	188	在宅がん緩和ケアフォーラム	2月16日	1日	千葉市 千葉市文化センター	がんになっても住み慣れた地域で安心して過ごせるように、在宅緩和ケアの現状や問題点、今後の方向性を検討する	一般県民	1	1	平成21年度	500	960,000	960,000	有り	
病院局	189	千葉県精神科医療センター公開講座	3月2日	1日	千葉市 きぼーる	精神疾患についての知識、情報を提供し、『こころの健康』の啓もうを行う	限定なし	3	1	平成22年度	54	231,837	231,837	有り	
病院局	190	千葉県子ども病院県民公開講座	2月23日	1日	千葉市 千葉市ビジネス支援センター 13階(きぼーる)	千葉県子ども病院の活動を知ってもらう	一般県民	3	1	平成20年度	52	154,300	154,300	無し	

平成24年度イベント一覧

※イベント形態は1会講・集会型 2展示型 3講座・学習型 4スポーツ・レクリエーション型 5その他

※イベント形式は1県主催 2共催 3実行委員会形式 4その他

※県費支出額の中には、財源が基金のものも含まれている

部局等	NO	イベント名	開催期間		開催場所		イベントの目的	参加対象者	イベント形態	開催形式	始期	参加者数(人)	事業費(円)		委託の有無
			開催期間	開催日数	開催場所	会場名							事業費(円)	県費支出額(円)	
病院局	191	東金研究発表会	3月9日		東金市		地域の課題を地域の方々々と問題解決に向けて考える	一般県民	1	1	平成10年度	69	187,520	187,520	無し
			1日		大会議室						平成24年度				
病院局	192	九十九里地域医療夏期セミナー	8月25日～26日		東金市		今後の地域医療の在り方、さらには地域医療に対する自分の自覚を見つづけるきっかけとしてもらう。	限定なし	1	九十九里地域医療協議会	未定	42	503,580	250,000	無し
			2日間		大会議室ほか										
教育庁	193	子どもの読書活動啓発の集い	5月12日		千葉市		子どもの読書活動の意義や重要性について理解と関心を深め、学校や家庭・地域における子どもの読書活動の推進をめざす。	一般県民	1	1	平成22年度	155	204,327	204,327	無し
			1日		千葉県文化会館						未定				
教育庁	194	第54回関東ブロック民俗芸能大会	10月14日		館山市		各地に伝承されている民俗芸能について、地域の特色の顕著なものや伝統のあるものを公開することにより、民俗文化財に対する一般の理解と関心を喚起するとともに、各地における保存・伝承活動の活性化に寄与する。	限定なし	2	2、3	昭和34年度	819	3,960,000	1,980,000	有り
			1日		千葉県南総文化ホール						未定				
教育庁	195	2012国際千葉駅伝	11月23日		千葉市		国際スポーツ大会の開催を通じて、県民のスポーツに対する関心及び競技力の向上並びに国際化への意識の高揚を図る。	各国代表選手	4	3	昭和63年度	165	155,119,889	22,000,000	有り
			1日		スタート、ゴール 千葉県総合スポーツセンター						未定				
教育庁	196	県民体育大会	10月27日～10月28日		県内20市2町		「ゆめ半島千葉国体」を契機に、広く県民に普及したスポーツを県内地域に振興し、地域文化の発展に寄与する。	各市町村代表選手	4	1	昭和24年度	9,982	6,300,000	6,300,000	有り
			2日間		千葉県総合スポーツセンター等						未定				
教育庁	197	第67回国民体育大会千葉県大会	4月～7月		県内各地		国民体育大会に本県から優秀な選手を派遣するため、予選会を兼ね、広く県民の間にスポーツを普及・振興する。	参加資格を有する県民	4	2	不明	21,382	14,537,556	645,000	有り
			3ヶ月間		千葉県総合スポーツセンター等						未定				
教育庁	198	ちばアクアラインマラソン	10月21日		木更津市、袖ヶ浦市		「スポーツ振興」と「千葉の魅力発信」を二本柱とした大会を開催し、多くの人たちに千葉県と東京湾アクアラインの魅力を知ってもらうことで、地域間交流の拡大による地域活性化を図る。	満18歳以上の男女(高校生を除く)で5時間40分程度までに完走できる者	4	3	平成24年度	13,946	446,107,439	55,170,687	有り
			1日		マラソンコース						未定				
教育庁	199	高校生のためのボランティア体験講座	6月2日～8月23日		柏市		高校生のボランティア活動への意欲を高めるとともに、学修単位認定のためのプログラムを開発する。	高校生	3	1	平成13年度	274	173,660	173,660	無し
			5日間		さわやかちば県民プラザ						未定				
教育庁	200	高校生ハンドフエスティバル	10月28日、12月15日、12月16日		柏市		参加型芸術文化活動の促進を図り、県民に高校生の文化活動を鑑賞する機会を提供する。	高校生	3	1	平成12年度	1,012	257,000	257,000	有り
			3日間		さわやかちば県民プラザ						未定				

平成24年度イベント一覧

※イベント形態は1会講・集会型 2展示型 3講座・学習型 4スポーツ・レクリエーション型 5その他

※イベント形式は1県主催 2共催 3実行委員会形式 4その他

※県費支出額の中には、財源が基金のものも含まれている

部局等	NO	イベント名	開催期間		開催場所		イベントの目的	参加対象者	イベント形態	開催形式	始期		参加者数(人)	事業費(円)		委託の有無
			開催期間	開催日数	開催場所	会場名					開始	終了		事業費(円)	県費支出額(円)	
教育庁	201	東葛飾文化祭 in 県民プラザ	4月14日～3月14日	29日間	柏市	さわやかちば県民プラザ	東葛飾地域の文化団体相互の親睦・交流を図るとともに、文化活動の成果を発表し、県民の文化の振興と生涯学習の振興を図る。	限定なし	2	3	平成11年度 未定	18,468	850,153	141,000	有り	
教育庁	202	音楽ワークショップ	5月26日～1月13日	17日間	柏市	さわやかちば県民プラザ	芸術文化活動を支える人材の育成を図るとともに、県民に吹奏楽を鑑賞する機会を提供する。	一般県民	3	2	平成8年度 未定	4,226	667,751	263,960	無し	
教育庁	203	ヤングパフォーマンス	10月8日、11月11日、11月17日、11月18日	4日間	柏市	さわやかちば県民プラザ	青年の企画運営力を伸ばし、ネットワークを広げるとともに、県民に青年たちの活動を紹介する。	限定なし	2	1	平成19年度 未定	5,360	414,824	414,824	有り	
警察本部	204	千葉県警察音楽隊第21回定期演奏会	11月10日	1日	千葉市	千葉県文化会館	音楽隊の演奏を通じて県民とのふれあいを深め、警察活動に対する県民の理解と協力を確保するとともに、隊員の演奏技術の向上を図ることを目的とする。	一般県民	2	1	平成4年度 未定	3,100	805,610	805,610	無し	
警察本部	205	警察「ふれあい」フェスタ2012	8月18日～19日	2日間	千葉市	そごう千葉店	県民と警察との直接的なふれあいの場を設け、参加・体験型のイベントを通じて、安全に関する情報を提供するとともに、警察活動への理解と協力を求めることを目的とする。	一般県民	2	2	平成15年度 未定	32,000	3,189,869	3,189,869	有り	
警察本部	206	第28回タッチヤング千葉県少年柔道・剣道大会	7月26日	1日	千葉市	千葉県武道館	非行少年を生まさない社会づくりを促進することを目的とする。	一般県民 (小学生・保護者) 来賓者	4	1	昭和60年度 未定	570	221,975	221,975	無し	
人事委員会事務局	207	千葉県職員採用セミナー(上級等)	12月20日	1日	千葉市	千葉県教育会館、県庁本庁舎、議会議場	平成25年度千葉県職員採用試験(上級及び資格免許職試験)を受験予定の方を対象に、県職員の仕事をより具体的に理解し、その魅力を感じてもらおうため。	平成25年度千葉県職員採用試験(上級及び資格免許職試験)を受験予定の方(中・初級等)又は検討されている方)	1	1	平成19年度 未定	517	194,030	194,030	無し	
人事委員会事務局	208	千葉県職員採用セミナー(中・初級等)	8月2日	1日	千葉市	千葉県教育会館、県庁本庁舎、議会議場	平成24年度千葉県職員採用試験(中・初級等)を受験予定の方を対象に、県職員の仕事をより具体的に理解し、その魅力を感じてもらおうため。	平成24年度千葉県職員採用試験(中・初級等)を受験予定の方)又は検討されている方)	1	1	平成19年度 未定	447	162,120	162,120	無し	